

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2016.10.1
(平成 28 年)

No. 37



『過而不改：』

東筑会会長

高山和幸

(56期)

同窓の皆様には日頃から東筑会のために、ご協力ご支援を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

平成28年度の東筑会総会・懇親会には、全国より遠路お越しの方も多く、皆様のご出席を賜りまして盛大かつ有意義に開催されました。大いに交流親睦を深められたことと存じます。衷心よりお慶び申し上げます。今後とも多数の皆様のご出席を祈念いたします。また、当番期86期の皆様には諸準備ならびに運営のご苦労に対しまして、敬意を払い感謝を申し上げます。来年度当番期87期の皆様には諸準備等よろしくお願い申し上げます。

今年度役員の交代をご紹介します。

長野熙（56期）幹事長が勇退され顧問に、平田龍司（69期）副幹事長を幹事長に委嘱しました。長野さんは16年の長きに亘りご尽力をいただきました。厚く感謝を申し上げます。

さて、最近の世相を見るに、危惧を抱いている方がおられると思います。個人の過ちが積み重なり、やがて一国の危機、地球規模にまで拡大した時を思えば心穏

やかではありません。

「過而不改、是謂過矣」（過ちを改めざる、これを過ちという。）

過ちを自覚して改めようとしなさい、これが本当の過ちである。「小人過也必文」（小人の過つや必ずかざる）。過つたと思っても粉飾したり、過ちでないと強弁したりする。（改むるに憚ることなかれ）（過ちを忝たびせず）（過つや人皆これを見る）。過ちを繰り返さない自省せよ。すべての人々が見ている。…と戒めます。肝に銘じ、心したいものです。

今春、母校では114期生が卒業し、東筑会に入会しました。心から歓迎し、世界で活躍すべく支援したいと思えます。

東筑会の皆様には、同期会、地域東筑会、職場東筑会等々「東筑の絆」を深められていることと存じます。今まで以上に強い絆を持つ東筑会を願ってやみません。

最後になりましたが、母校東筑の益々の発展と東筑会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

更なる飛躍をめざして

学校長 花岡俊彦



東筑会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から東筑高校にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

東筑会員の皆様には、志願倍率も1・56倍と2年連続で1・5倍を超える高水準となるなど、地域からの期待と人気も高く常に躍進を続ける本校は、まさに北九州地区のトップ校として存在感を示しています。これもひとえにこれまで名門東筑の伝統を築いてこられた先輩の皆様のおかげと感謝申し上げます次第です。

皆様の母校東筑高校では、東筑生が日々生き生きと学校生活を送り、平成28年度も多方面で活躍しています。部活動では、陸上部(走り幅跳び)とボート部がインターハイ出場(岡山県開催)を決め、囲碁部、生物部も全国大会へ駒を進めております。九州大会へは陸上部、ボート部の他、水泳部、相撲部の計4部が出場しており、ますます意気盛んとなっております。

指定4年目を迎えるSSH(スーパーサイエンスハイスクール)も東筑奨学会のご協力をいただいでさらに充実し、探究的・主体的な学びを身につけた生徒たちが、東大(3名)、京大(11名)、九大(82名)などの難関大学をはじめ国立公立大学に2977名、私立大学には391名が合格しました。今年度は、これに加え、福岡県より「グローバル人材育成強化校」の指定を受けています。この事業は、理科や数学等の授業を英語を使って行うもので、県内で指定を受けたのは4校のみとなっております。このことは、まさに、世界を舞台に活躍する生徒の育成を目的としている本校に対する期待の表れと言えます。今春に行われました117期生の入学者選抜にお

私も、第32代校長として着任して3年目、最後の一年となりました。私自身、東筑生の素晴らしさに感銘することばかりですが、本校の使命は、この恵まれた資質を持つ東筑生の心に灯をつけ、さらに輝くものにしていくことだと考えております。「文武両道・質実剛健」の校是を踏まえつつ、新たな自分と向き合う機会を提供し、自らの進路をたくましく切り拓く生徒を育成してまいりたいと考えております。

今年度は、「本気の文武両道・本気の東筑魂」のスローガンのもと、「本気の文武両道・本気の東筑魂を実践して、進学実績、部活動実績とともに伸ばす」「チャレンジ精神旺盛なたくましい生徒を育成する」「SSHの取組を授業改善に活かす」の3つを重点目標に掲げ、2年後の創立120周年に向けて、更なる飛躍をめざして生徒・教員が一丸となって励む所存ですので、今後の活躍にどうかご期待ください。あわせて母校にも足をお運びいただき、先輩諸君への激励を是非ともお願いいたします。後、終わりに、東筑会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念しご挨拶いたします。

紀の国わかやま国体

馬術少年リレー競技で優勝

平成27年10月3日に行なわれた紀の国わかやま国体で、東筑高校の菊竹寛太君(当時2年生)が吉田光佑君(当時東福岡自強館中学校3年生)と組んで出場した馬術少年リレー競技でみごと優勝しました。

この競技は2人馬でチームを組んで、第1走者が第1障害から第6障害、第2走者が第7障害から第12障害を飛越するという方法で行われます。吉田光佑&アムシーと菊竹寛太&ファルコン(福岡県)が55・78秒で優勝しました。



◀ 第1走者
吉田光佑&アムシー



▶ 第2走者
菊竹寛太&ファルコン
「国体の雰囲気は楽しくもあり、緊張もするのですが、今日は満足のいく走行ができて良かったです。明日の少年ダービーも落ち着いて一つひとつやっていきたいです」

平成28年度 総会報告

東筑高等学校同窓会の総会・懇親会が平成28年6月4日(土)に北九州八幡ロイヤルホテルにて開催されました。

15時から万葉の間にて総会が開かれました。開会の辞に続いて、高山会長、花岡校長がご挨拶され、来賓の柏原東京東筑会会長からお祝いの言葉を頂戴いたしました。

その後、高山会長を議長に選出して、議案の審議となり、平成27年度の事業報告、収支決算報告、監査報告および平成28年度事業計画案、収支予算案が意義なく承認されました。また、長野幹事長に代わり、新たに、平田幹事長が選任されたことが報告されました。

総会終了後の16時からロイヤルホールにて懇親会が催されました。「ゆたかなれ東筑く同窓の海から世界へ」のテーマのもと、全国各地から集合した約1,100名の同窓生が旧交をあたため、懇親を深めました。どの方もまだまだ話し足りない様子でしたが、来年の再会を約束し、閉会のことばとともに笑顔で会場を後にしました。

平成28年度事業計画

会則第2条(本会の目的)達成のため、平成28年度は下記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携、グローバルビジネス研修・国内ビジネス研修の支援、卒業生による講演会の講師協力、図書館の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第37号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備

平成28年度 一般会計予算書

自 平成28年5月1日
至 平成29年4月30日

〔収 入〕		予 算	備 考
繰 越 金		2,582,099	
入 会 金		4,776,000	4,800 × 995 人 (115・116・117 期)
会 費		2,500,000	2,000 × 1,250 人
雑 収 入		30,000	預金利息 他
計		9,888,099	

〔支 出〕

費 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期 (87 期) へ
会 議 費	150,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	200,000	卒業証書入れ (アルバム式)
会 報 費	3,350,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	150,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	90,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	910,000	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HP サーバー料
振 替 手 数 料	100,000	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教 育 振 興 費	1,800,000	母校教育振興・定期野球大会・ビジネス研修補助金・図書館の充実
基 本 金	0	基本金会計へ
予 備 費	38,099	
計	9,888,099	

平成27年度 一般会計決算書

自 平成27年5月1日
至 平成28年4月30日

〔収 入〕		決 算	備 考
繰 越 金		2,975,450	
入 会 金		4,905,600	4,800 × 1,022 人 (114・115・116 期)
会 費		6,413,000	休転退学15名 2,000 × 3,189 人・1,000 × 1 人
寄 付 金		20,000	4,000 × 6 人・10,000 × 1 人
雑 収 入		578,904	波田賢一氏より20,000 会員名簿等
計		14,892,954	85期より505,597円 預金利息 他

〔支 出〕

費 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期 (86 期) へ
会 議 費	133,716	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	200,448	卒業証書入れ (アルバム式)
会 報 費	3,337,774	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	433,024	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	115,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	82,720	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	888,581	電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HP サーバー料
振 替 手 数 料	363,360	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局
教 育 振 興 費	2,106,232	母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・校庭、図書館の充実
基 本 金	2,000,000	基本金会計へ
予 備 費	0	
計	12,310,855	
差 し 引 き 残 高	2,582,099	次年度へ繰越

平成27年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 高山 和 幸 殿
このことについて、下記の通り報告します。

記

平成27年度「東筑会一般会計」「東筑会基本金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成28年5月12日

会計監査 矢野 定 延 ㊞
会計監査 井 上 光 徳 ㊞

平成27年度 基本金会計決算書

自 平成27年5月1日
至 平成28年4月30日

〔収 入〕		金 額	備 考
繰 越 金		20,614,324	
繰 入 金		2,000,000	一般会計より
雑 収 入		3,824	4,148(預金利息)-324(残高証明書)
計		22,618,148	次年度へ繰越

当番期を終えて

去る6月4日に開催されました東筑会総会・懇親会では、雨天にもかかわらず、沢山の皆様にご参加いただき、無事盛会に終えることが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。

1年前に伝統の襷を引き継いだ時には、不安と重圧で一杯でしたが、役目を終えた今思うことは「感謝」の一語です。

この1年間、東筑会役員の方々や、学校関係者の皆様には、不慣れな私たちに多大なるご支援、ご指導を頂きました。本当にお世話になりました。また、各地域東筑会に伺った際には、どこに行っても温かく迎えていただき、沢山の激励とご協力を頂戴し、大変心強かったです。当番期活動を支えて下さいました全ての皆様に、心より感謝

当番期を迎えて

去る6月4日の東筑会懇親会にて、私たち87期はついに、86期の岩男先輩から伝統の「当番期の襷」を受け取りました。

思えば、28年前。平成元年の春に卒業した私たちは、在学中の3年間、野球で甲子園に出場、ラグビーで全国大会(花園)に出場、そして東筑会館の設立を記念してのセミナーハウス合宿など、同窓会に支えられ、大変有意義な学生生活を送らせていただきました。襷を受け継いだ後、懇親会の終盤に会場全体に響く「応援団」との「校歌斉唱」に包まれた時、遠く現役時代に、学友と肩を組み汗にまみれ涙にむせびながら、何度となく声高らかに校歌を歌った

謝申し上げます。

そして何より、この当番期という機会を与えて頂きました事に、心から感謝しております。この当番期活動を通じて沢山の同窓の皆様とお会いし、東筑高校の素晴らしい歴史と伝統を、同窓生の絆の強さを、そして東筑高校卒業の誇りを再認識できました。また多くの同期生と再会することもできました。もしも当番期がなかったら一生再会することもなかったかも知れません。同じ学び舎で、同じ時間を過ごした仲間との再会は、卒業後30年近くたつても、まるで昨日までずっと一緒にいたように居心地が良く、元氣と勇気をたくさん貰いました。高校時代の甲子園や体育祭のように、みんなで同じ目標に向かうことの素晴らしさ

「青春」の断片を思い出し、胸が熱くなりました。当番期を迎えるにあたり、懐かしい同窓との交流も再開しています。充実した学生時代の恵まれた思い出と、今にまで続くこのすばらしい友情という名の絆に感謝し、今こそ、東筑会への恩返しをする機会がめぐってきたのだと、身の引き締まる思いです。

これからの1年間、遠く北海道からひのくに熊本まで、全国の東筑会にお伺いし、各地で活躍される皆様とのふれあいの中で、懐かしい学び舎で育んだ絆を再確認することになると思います。

そして、我々がお世話を担当させていただく来年6月の東筑会懇

86期会長 岩男 剛

を改めて教えて頂きました。この1年間は86期にとって一生の宝物となります。きっと、これから先の人生を生きていく上で、大きな力になることでしょう。

当番期の襷は87期へ引き継ぎましたが、これからも東筑高校の歴史と伝統の一員であることを誇りに、母校東筑高校の益々の発展に少しでも貢献できるよう努力していきたいと思えます。1年間本当に有難うございました。

末筆となりましたが、東筑会の益々のご発展並びに会員皆様方のご健康と、87期の皆様のご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

87期会長 船元 幸徳

親会では、ご参加いただく皆様には是非とも東筑(こゝろ)の絆を確かめていただき、最後には、「応援団旗」の舞う下で、想いを一つと迫力の校歌を皆で歌い上げたいと思えます。

この伝統を、確実に次に繋いでいくため、同期一同、心を一つに当番期に取り組んでいきます。どうか東筑会の皆様におかれましては、当番期の襷をかけた87期を見かけましたら、一言「頑張れ!」と励ましの言葉をかけてください。最後に、来年度の東筑会総会・懇親会への皆様のご参加を心からお願ひ申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

◆ 第33回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

去る5月6日(金)に、宮若市の『ザ・クラシックゴルフ倶楽部』にて、第33回東筑会ゴルフ大会を開催いたしました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、49期から101期までの総勢221名にご参加いただき、大変盛況なゴルフ大会となりました。ザ・クラシックゴルフ倶楽部のダブルペリア方式でハンディキャップを算出し、成績を集計いたしました。優勝トロフィー争奪の団体戦におきましては、優勝から3位までが4ポイント差にひしめく大接戦となりました。ここに大会成績を発表させていただきます。入賞されました皆様方には、心よりお祝い申し上げます。

(敬称略)

団体の部

優勝 65期 準優勝 61期
3位 70・72(合同)期

個人の部

●グランドシニアの部【～62期】

優勝 荒牧 靖(61期)
準優勝 日々谷祥生(57期)
3位 戸坂 武史(54期)

●シニアの部【63期～72期】

優勝 佐々木憲男(65期)
準優勝 山口 修平(65期)
3位 吉武 文王(70期)

●一般の部【73期～】

優勝 北原 希克(79期)
準優勝 佐竹 真人(74期)
3位 小野 裕和(81期)

●レディースの部

優勝 白石 菊恵(84期)

準優勝 大町 綾子(77期)
3位 守田 敦子(63期)

皆様のおかげで無事にゴルフ大会を終えましたことを報告させていただきます。また、雨天にもかかわらずご参加いただきました皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

86期東筑会ゴルフ大会委員長 松山竜哉



団体の部優勝の65期

組織網の強化をめざして

組織委員長 日高 教夫 (64期)

ITを活用した東筑ネットワークを！

これまで同窓生相互の連絡手段として利用されてきた会員名簿が個人情報等の保護の為発行をやめました。このままでは相当数の居所不明者が出るのではと思われれます。毎回多くの方が楽しみにされている「東筑会報」誌についても、同窓会事務局に届出のある方に発送していただきますので、各期幹事の皆様には同期生の住所の把握に努めてもらいたいと思います。新たに住所等が確認できましたら、事務局(26ページに表示)までご連絡お願いいたします。

また、今後は東筑会ホームページに公式のフェイスブックページを作り、同窓会活動や各期の活動がより一層活性化されればよいと思っております。

スマートフォンにも対応し、いつでも、どこでも気軽に東筑会の情報がお伝えできればと思っております。

地域東筑会を活発に！

地域に根ざした各地の東筑会活動こそ、他校同窓会と違った強みであり百二十年余りの伝統ではないでしょうか。

会費について

財務委員長 三宅 正輝 (71期)

会費納入のあり方を引き続き検討中

会員の皆様方から貴重な会費を納めていただくことが、東筑会の安定かつ円滑な運営のために、重要であるということは論を待ちません。

高山会長の諮問を受け、本委員会では「終身会員(会費)制度の創設」を念頭に置いて現在鋭意検討中です。

なにぶん重要かつ難問であるためすぐには答申案をお出しできない状況です。同窓会員諸氏のご意見、ご助言をいただきながら検討を進めていく所存です。

いましばらくご猶予をくださいますようお願い申し上げます。
なおメンバーは私のほか、副委員長林君(71期) 委員に打和さん(70期) 佐々木さん(71期) 加来君(79期) の4氏です。

「活力があり、読みやすい『東筑会報』」の紙面づくりをめざして

会報委員長 青野 元昭 (70期)

東筑会関係の皆様には、会報の内容の充実のために、多くの投稿をいただいていることに、いつも感謝しております。

「本気の文武両道・本気の東筑魂」のスローガンのもと、東筑の伝統である文武両道がしっかりと受け継がれている現在の東筑高校の様子から、東筑会の組織、各地区からの活動状況、各期日より等を提供してまいります。年々投稿数も増えてきており、東筑会同窓の深い絆を感じているところです。

会報委員会のメンバーは、私その他、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)です。皆様方に東筑会の活力を感じていただき、また、読みやすい紙面になりますように、4名で協力していきたいと思っております。ご支援の程、よろしくお願いいたします。

平成 27 年度

会報発送・年会費納入状況

平成28年 4月30日現在

期	27発送	27年度	期	27発送	27年度	期	27発送	27年度	期	27発送	27年度	期	27発送	27年度	期	27発送	27年度	計	20,949	3,201
15			36	12	1	57	362	126	78	251	40	99	258	21						
16			37	14	3	58	328	110	79	272	33	100	256	11						
17	1		38	24		59	385	114	80	251	27	101	282	19						
18			39	31	6	60	331	96	81	281	47	102	266	20						
19			40	41	10	61	310	56	82	356	52	103	292	23						
20			41	29	2	62	355	81	83	266	27	104	288							
21	1		42	45	16	63	400	112	84	302	36	105	306							
22	3		43	58	8	64	326	83	85	291	49	106	304							
23	3		44	68	18	65	346	82	86	250	37	107	300							
24	4		45	62	17	66	300	81	87	235	17	108	309							
25	3		46	85	22	67	326	70	88	320	33	109	321							
26	1		47	87	18	68	375	74	89	293	16	110	316							
27	4		48	160	38	69	356	86	90	288	12	111	342							
28	5	1	49	288	81	70	303	61	91	290	16	112	345							
29	5		50	361	100	71	338	57	92	289	21	113	393							
30	8		51	370	103	72	333	57	93	268	16	114								
31	8		52	364	81	73	278	65	94	232	15	115								
32	22	1	53	382	100	74	275	53	95	241	16	116								
33	10		54	473	112	75	306	39	96	238	11									
34	12		55	300	85	76	299	55	97	247	10									
35	16	3	56	354	120	77	283	51	98	281	20									

○平成23・24年度納入4,412人 ○平成25・26年度納入4,266人
○納入率…18.1% (3,201人/17,725通)・17,725通=20,949-3,224(104~113期生)
○平成25年度から103期生の年会費納入が開始されました。

母校合格近況

平成28年度合格者

国立大	私立大	その他
北海道大	大阪府立大	7
筑波大	下関市立大	76
東京大	北九州市立大	15
東京海洋大	九州歯科大	60
お茶の水女子大	福岡女子大	6
横浜国立大	福岡県立大	57
名古屋大	その他の公立大	4
京都大	防衛大	8
京都教育大	防衛医科大	62
大阪大	私立大	44
大阪教育大	青山学院大	8
神戸大	上智大	3
奈良女子大	東京都市大	82
京都工芸繊維大	中央大	11
岡山山	東京理科大	16
広島大	日本大	14
山口大	法政大	2
徳島大	明治学院大	5
福岡教育大	明治大	7
九州大	立教大	12
九州工業大	早稲田大	14
佐賀大	同志社大	12
長崎大	立命館大	11
熊本大	関西大	5
大分大	関西学院大	36
宮崎大	近畿大	8
鹿児島大	西南学院大	6
琉球大	九州産業大	62
その他国立大	福岡大	44
公立大	産業医科大	8
岐阜薬科大	その他の私立大	6
神戸市外国語大		62

東筑奨学会 支援のお願い

昭和56年6月、「学校法人東筑奨学会」の解散後の残余財産を基礎とし、同窓会、PTA及び地域有志の方々のご寄附を基本金として、「財団法人東筑奨学会」が設立されました。その後、平成26年4月1日より「一般財団法人東筑奨学会」を経て、平成27年4月1日より「公益財団法人東筑奨学会」として新たにスタートいたしました。

この間、「財団法人東筑奨学会」からの寄贈「添田寿一基金」をはじめ、多くの皆様方の物心にわたるご理解とご支援ご協力を賜り深く感謝いたします。

さて、現在は、福岡県立東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、併せて北九州地区の教育の振興に寄与することを目的として活動しています。

具体的には、在校生の範となるものに対して記念品を贈り、学業成績が特に優れたもの、部活動で全国大会優勝・出場、又はこれに準ずる成績をあげた者3年間皆勤した者等が対象となっています。

東筑高等学校ももうすぐ120周年という大きな節目を迎えようとしています。【本気の文武両道】・【本気の東筑魂】をスローガンに、学校あげて一生懸命に取り組んでいます。本奨学会も、時代の進展に応じて事業内容をさらに精選充実し東筑高等学校の文武にわたる振興

のために活動いたしたいと思っております。

21世紀を担うに足る有徳の青年の育成を目指している東筑高等学校の今後の更なる発展を期して、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご承知のとおり、新公益法人制度が施行され、ご寄付いただいた方には本奨学会が発行する領収書を添付すれば、所得金額から税法で規定された金額が控除されますし、土地、建物、株式などの資産を寄付していただいた場合にも、一定の要件を満たすものとして、国税庁長官の承認を受けた時はこの所得税について非課税とする制度が設けられています。

これによりご寄付がしやすくなり、徐々にですが寄付者が増加する傾向になっております。以上、ご報告するとともに、今後とも皆様方の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

公益財団法人 東筑奨学会
理事長 小野 晃

事務局
〒807-10831
北九州市八幡西区則松
二丁目2番24号
福岡県立東筑高等学校 東筑会館内
電話 093-603-6815

※奨学基金へのご寄付は、左記へ振込みくださいますようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店	普通預金	1321864
西日本シティ銀行 折尾支店	普通預金	1735106
遠賀信用金庫 折尾支店	普通預金	1129508
福岡びびき信用金庫 折尾支店	普通預金	1238299
振込口座名		
公益財団法人 東筑奨学会		
理事長 小野 晃		

平成27年度寄付者(敬称略)

- 関西東筑会 (2件)
- ゴルフ大会時
- 岡垣東筑会
- フレンドリー鞍手町東筑会
- 水巻東筑会
- ふくおか東筑会
- 黒崎整形外科病院
- 東筑会総会時募金
- 三原征彦 (61期)
- PTA・母の会
- 卒業生(氏名不詳) (2件)
- 東筑高校50期会
- 遠賀町東筑会
- 福井成元 (61期)
- 北九州くきのうみ東筑会
- 芦屋東筑会
- 田代龍一
- 7,113,853円 (19件)

音楽部OB会報告

原田テルミ先生の喜寿を祝う会

音楽部顧問教諭 津田宣子(78期)

平成28年3月20日、ホテルクラウンパレス北九州にて、テルミ先生の喜寿を祝う会が開催されました。ワインカラーのドレスを身に纏ったテルミ先生の周りには、75期生をはじめとして多くの卒業生、関係者が集いました。先生が東筑高校に赴任された1975年4月からの40年間、ご指導を受けた音楽部のOB・OGは1,000人近くおり、全国大会を含む数々のコンクールに導いていただきました。またご定年の年には教育文化功労賞を受賞なさるほど、東筑だけでなく様々な方面で影響を与えていらっしゃいます。

「東筑での40年間、いろいろなことがあったけれど、今思い返してみれば、うれしいことばかりなのよ。みなさん方がこうやって来て下さるから、この生き方でよかったと思います。私のうれしい気持ちを表すのは歌しかないのよ」そうおっしゃって披露された歌曲はブッチーニの「トスカ」、先生曰く、77歳の人間の心境に合う中田義直氏作曲の「サルビア」悲しくなった時に」の三曲でした。先生のお声はしみ入るように響き渡り、聴衆から嘆声がもれました。また、全員合唱では、OB・OGを現役時代さながらに指揮する先生のお姿は、背筋がぴんとして大変力強いものでした。

「人間はほけていくもの。前頭葉、海馬：音楽はいろんな所を使いますから、歌を歌い続けたら、音楽を続けたい！続けたら、音楽を歩いて行きましょう。また会う機会があるから、みんな元気であるよ！」の先生の愛情あふれる言葉で、笑顔で散会しました。



ワインレッドがお似合いのテルミ先生の誕生日を祝い(上)、全員で記念撮影(下)

各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)
(平成28年8月31日現在)

〔囲碁部〕

- ・第30回全九州高校囲碁選手権大会
男子団体 2位
女子団体 4位

- ・第40回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会県大会
男子団体 1位
女子団体 2位

- ・同全国大会
男子個人 3位

- ・第40回全国高校総合文化祭県大会
男子個人 2位

- ・同全国大会
団体 3位

- ・第10回全国高校囲碁選抜大会
男子団体 6位

〔将棋部〕

- ・第23回県高文連選手権大会
男子団体 3位・女子個人 3位

〔音楽部〕

- ・第70回九州合唱コンクール 銅賞

〔吹奏楽部〕

- ・平成27年度県高校総合文化祭県大会出場
- ・第9回県アンサンブルコンテスト 金賞
- ・第32回県吹奏楽コンクール 銀賞
- ・第61回九州吹奏楽コンクール 金賞

〔美術部〕

- ・第30回県高校総合文化祭 美術・工芸部門 特選
- ・平成27年度県高文連
- ・第29回デザインコンペ 入選

〔生物部〕

- ・日本学生科学賞全国審査 入選2等

- ・県高校総合文化祭生物部門 研究発表 最優秀賞
- ・第40回全国高校総合文化祭 広島大会出場
- ・テーマ・コロギと超音波の関係

〔E.S.S.〕

- ・第14回県高校英語スピーチ大会 3位
- ・第34回県高校英語スピーチコンテスト 弁論の部出場
- ・第3回九州国際大学杯高校生英語スピーチコンテスト出場

〔文芸部〕

- ・第30回県高校総合文化祭
- ・第19回文芸部門 県大会出場

〔茶道部〕

- ・平成28年度3月若屋釜の里 春の茶会 薄茶席担当

〔演劇部〕

- ・平成27年度高文連総合文化祭演劇部門 北九州地区大会 優良賞

〔放送委員会〕

- ・第30回県高校総合文化祭放送コンテスト県大会出場

〔総合部〕

- ・第43回県空手道選手権大会(空手) 個人戦・少年男子形 準優勝
- ・平成27年度県高校新人大会 男子個人形出場
- ・平成28年度県高校総体県予選会 男子個人形出場
- ・第70回国民体育大会(馬術) 少年リレー競技 優勝

〔バスケットボール部(女子)〕

- ・平成27年度県高校新人大会出場
- ・平成28年度県高校総体選手権大会 出場

〔バスケットボール部(男子)〕

- ・平成27年度県高校新人大会 ベスト4

- ・平成28年度県高校総体選手権大会 ベスト16
- ・第47回全国高校選抜優勝大会 県2次予選 ベスト24

〔バレーボール部〕

- ・第68回全国高校選手権大会県大会 女子 ベスト16・男子出場
- ・平成27年度県新人大会 男子・女子共に出場
- ・平成28年度県高校総体 男子・女子共に出場
- ・平成28年度天皇杯・皇后杯 福岡県ラウンド 男子・女子共に出場

〔野球部〕

- ・第137回九州地区大会県大会 ベスト8
- ・第138回九州地区大会県大会 ベスト4

〔ポロ部〕

- ・平成28年度県高校競技大会 男子シングルスカル 2位
- ・男子ダブルスカル・舵手付クォドルプル 各々優勝
- ・女子シングルスカル・ダブルスカル・舵手付クォドルプル 各々優勝
- ・平成28年度全九州高校体育大会 女子ダブルスカル 優勝

〔陸上部〕

- ・第37回県高校新人大会 男子400m 7位
- ・4×400m R 8位・走幅跳 14位
- ・800m 出場
- ・女子走幅跳 優勝・9位
- ・4×400m 出場

〔山岳部〕

- ・第33回全九州高校新人大会(長崎) 女子走幅跳 6位
- ・第31回日本ジュニア選手権大会(愛知) 女子100m 出場
- ・第27回全国高校女子駅伝 県予選大会 22位
- ・第69回全国高校対校選手権大会 県予選会

〔ラグビー部〕

- ・第95回全国高校大会県予選 ベスト8

- ・男子800m 7位・三段跳 15位
- ・400m H・4×100m R・4×400m R 出場
- ・女子走幅跳 4位・15位・22位
- ・三段跳 優勝・2位・10位
- ・400m・4×100m R・4×400m R 出場

〔水泳部〕

- ・同九州地区予選会(佐賀) 女子走幅跳 優勝
- ・同全国大会(岡山) 女子走幅跳 出場
- ・第2回県高校学年別大会 男子A 400m 6位
- ・4×400m R 出場
- ・女子B 400m 3位
- ・A走幅跳 3位・12位
- ・B走幅跳 6位
- ・共通三段跳 優勝・2位・3位
- ・共通400m H・4×100m R・4×400m R 出場

〔柔道部〕

- ・第70回九州選手権大会(鹿児島) 女子三段跳 8位
- ・第4回全国選手権大会(大阪) 女子三段跳 出場

〔水泳部〕

- ・平成27年度全九州高校選手権大会(沖縄) 男子200m M R 50m 平泳ぎ・背泳ぎ 女子50m バタフライ
- ・平成27年度全九州高校選手権大会 出場
- ・平成28年度全九州高校競技大会 女子400m 個人メドレー 7位入賞
- ・女子200m 個人メドレー・女子200m 自由形 出場

〔相撲部〕

- ・九州高校体育大会県予選 女子400m 個人メドレー 3位・九州大会 出場
- ・平成28年度県高校競技大会 男子団体 3位
- ・男子個人 100kg以上級 4位
- ・九州大会 出場

〔卓球部〕

- ・平成27年度県高校新人大会 男子団体 5位
- ・平成28年度県高校総体県予選会 男子シングルス 出場
- ・男子団体 5位
- ・インター杯県予選会 団体 5位

〔ソフトテニス部(女子)〕

- ・平成27年度県高校新人大会 個人 出場

- ・第38回全九州高校新人大会県予選会 ベスト8
- ・第69回全九州高校大会県予選会 ベスト8
- ・第3回全国高校7人制大会県予選大会 3位

〔バドミントン部〕

- ・平成27年度県高校新人大会 男子団体 出場
- ・平成28年度県高校総体県大会 男子団体 出場

〔剣道部〕

- ・平成28年度県高校総体県大会 男子団体・男子個人 出場
- ・平成28年度玉竜旗大会 男子・女子共に 出場

〔柔道部〕

- ・県高校新人大会 男子団体・男子個人 100kg級 出場
- ・県高校選手権大会 男子個人無差別級 出場
- ・平成28年度県高校総体県大会 男子団体・男子個人 100kg級 出場
- ・平成28年度金鷲旗大会 男子出場(1回戦5人抜き)

〔相撲部〕

- ・平成28年度県高校競技大会 男子団体 3位
- ・男子個人 100kg以上級 4位
- ・九州大会 出場

〔卓球部〕

- ・平成27年度県高校新人大会 男子団体 5位
- ・平成28年度県高校総体県予選会 男子シングルス 出場
- ・男子団体 5位
- ・インター杯県予選会 団体 5位

〔ソフトテニス部(女子)〕

- ・平成27年度県高校新人大会 個人 出場

コロナの研究で全国大会に出場

生物部顧問教諭 佐竹美恵子

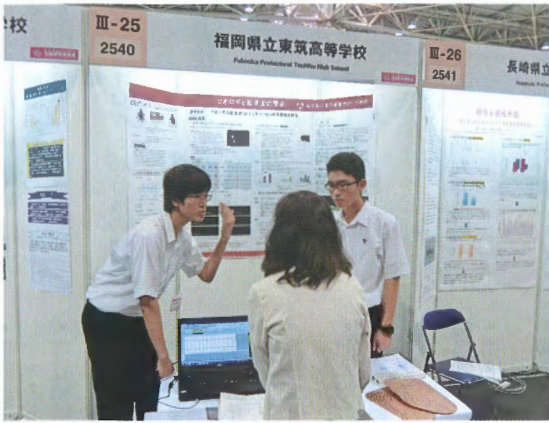
生物部は平成27年8月にSSH研究発表会で奨励賞を、また12月に読売新聞社主催の日本学生科学賞で入選2等を得ました。

また、平成28年8月には第40回全国高等学校総合文化祭広島大会に出場しました。研究テーマは「コロナと超音波の関係」超音波コミュニケーションの可能性を探る」です。生徒は毎日コロナの世話をしながら、大学から借用した超音波対応マイクで鳴き声を拾って分析したり、犬笛から出る超音波をコロナに聴かせて反応を分析したりして、コロナが超音波を情報として用いているという結論にいたりしました。地味な日々の活動を根気強く続けた成果が認められ、たいへん喜んでいきます。

東筑高校は文部科学省より平成25年度から5年間のSSH校の指定を受けており、SSH校は全国に約200校あります。SSH研究発表会ではポスター形式で発表し、発表は物理、化学、生物、地学等の分野毎に大学教員や専門家によって審査され、着眼点のよさや手法が優秀な研究に対して賞が授与されます。部門別の最優秀賞こそ逃しましたが、次点の奨励賞をいただき、会場のインテックス大阪の大画面に「東筑高校」の文字が映された表彰の瞬間は鳥肌が立つほど感動しました。大阪で行われたSSH発表会には物理部、化学部も同行し、

他校の発表を参観して科学的な研究の方法について学び、研究熱心な高校生の姿を目の当たりにして刺激を受けました。SSH科目の「課題研究」で2年生全員が研究に取り組む経験をするようになったこともあり、研究系の部活動に対して従前以上に応援をいただいているように感じます。大阪からの帰りの新幹線では東筑の制服に気づかれた卒業生の方から「これからも頑張ってください」と声をかけていただき、励ましていただきました。

部活動における文武両道を目指して、運動部の活躍に負けないよう努力し、多才な東筑生の力を伸ばせるよう指導してまいります。



SSH研究発表会

自分にできる社会貢献

生徒会担当教諭 松本健史

平成28年4月14日に熊本県熊本地方を震源とする最大深度7の地震が発生し、熊本県、大分県を中心に大きな被害が出ています。今もなお、避難所での生活を余儀なくされ、余震におびえながら生活する方も少なくないといわれています。

本校生徒会では、「震災に対して私たちにできることは何か」を考えました。まず、街頭募金を実施することにし、全クラスへ参加の呼びかけを行いました。結果、有志が35名参加し、5月7日午後1時、JR折尾駅前(東口、北口)、黒崎駅前にて実施しました。参加した生徒は「ご協力お願いします」と大きな声で募金を呼びかけ、地域の方から多くのご協力を得て、11万円以上の募金を集めることができました。また、本校卒業生の方からの励まし、募金をしてくださった方からの差し入れなど、心温まる支援を賜り、参加した生徒は、募金の達成感とともに地域の方々や卒業生の温かさ、信頼を肌で感じる機会となりました。

次に、5月28日に行われた文化祭においては、募金箱を設置し、募金を呼びかけました。また、文化祭では例年、食物部のお菓子等の販売、3年生有志による模擬店、家庭クラブ委員会による復興支援企画「私たちにできることプロジェクト」(家庭クラブ委員会を中心として家庭科の授業で作成した作品(ティッシュカバー、香り袋を販売するもの)による売り上げを被災地へ寄付しています。今年も、街頭募金同様、熊本へ寄付することとしました。

さらに、本校吹奏楽部は5月に則松市民センター、6月に陣原市民センターでコンサートを開催し、その際に募金箱を設置し募金を呼びかけました。上記の活動で、総額280,239円となりました。日本赤十字社を通じ、寄付をしました。多くの方のご協力により、これほどの大きな力になることを生徒たちは全身で感じてくれたものと思っています。今回の活動を通じて、一つの小さな行動が、大きな力になること。地域の皆様に信頼され、見守っていただいていること。そして、なにより生徒自身が「自分にできる社会貢献」を体感できたことが良かったと感じています。最後に、ご協力いただいた皆様に感謝し、一刻も早い復興を生徒会一同祈っております。

JR折尾駅



ご協力をお願いします。

JR黒崎駅



平成27年度 国内ジュニアス研修

後輩達への熱い思いを実感

東筑高校教諭 吉塚英樹

本校の国内ジュニアス研修の目的は

- ① 先進的な研究機関や大学、企業での研修を通して最先端科学技術を体験し、興味・関心を喚起する
- ② 最先端科学技術が創出される東京大学、京都大学の研修会では、本校卒業生や第一線で活躍している研究者と議論を行うことで、科学的知識や思考方法および多様な表現力や発信力を身に付けた理科系の人材を育成に寄与することができる
- ③ 関東・関西の企業や大学で活躍している本校卒業生との交流を通して、今後の意欲的な学校生活の動議付けとする

以上、3点です。これを受けまして平成27年12月9日から12日の3泊4日の日程で、国内ジュニアス研修（SSHプログラム）が実施され、116期21名が参加しました。昨年度に引き続き本年度も、京都大学工学部（桂キャンパス）、同法学部（吉田キャンパス）、三菱ケミカルホールディングス、NEC、日本科学未来館、東京大学工学部、医学部、文系学部など、大学や研究施設、さらに先進的な企業といった様々な場所で研修を実施しました。この研修は、東筑OB職員である東筑会事務局長の小川先生（77期）、辻本先生（90期）、本校キャリア教育部の田代先生が大学や企業など各方面へ依頼して、充実した内容を検討していただき、昨年にも増して素晴らしい研修になりました。

初日は、昼前に京都大学桂キャンパスに到着し、本校OBであり都市環境工学部大学院の野口（106期）君ら大学院生や留学生と一緒に昼食をとり、大学生や留学生との触れ合いの中で生徒の緊張していた雰囲気も次第に和んでいきました。昼食後は、同学部の米田教授の熱心な講義や各研究室での実習に参加させていただきました。

2日目の京都大学吉田キャンパスでは、法学部の原田教授（94期）とそのゼミの生徒を交えたディスカッション

ンを行い、生徒にとっては新鮮で非常に興味深いものになったようでした。午後からは東京へ移動し、OBの江口（80期）さん、森（84期）さんのお世話で、三菱ケミカルホールディングスで炭素繊維や人工の光合成の研究など、先端企業の技術に触れることができ、生徒の科学的興味・関心は高まったことと思います。

3日目の午前中は、OBの億谷（74期）さんのお世話で、NECイノベーションワールドにおいて、これからの高齢社会に向けてのボイスグラフィーやフィンガージェスチャーの研究、環境対策としての日配品需要予測ソリューションの研究内容などを説明していただき、その後は大気と水の循環について体験しながら学ぶコンセプトゾーンを見学しました。午後からは、日本科学未来館研究室で、光電変換プロジェクト、ミトコンドリアの光合成について、実習や説明を受けました。日本の最先端科学技術に触れることができ、生徒の興味・関心を喚起する非常に充実した内容でした。

最終日は、東京大学本郷キャンパスで、東京大学の学生団体であるフェア・ウインドの企画で、文系、医学部、工学部の3つのグループに分かれ、文系は松島助教授から発達心理学の講義、医学部は金井助教授から神経細胞についての講義、工学部は加藤助教授から持続型社会の構築のための機能性分子材料についての講義など、それぞれ熱心な講義や実習を受けました。生徒たちは、講義を受けるだけでなく、実際の研究室を見学したり、実験機械に触れたりして東京大学のレベルの高さを実感したようでした。その後、フェア・ウインドの学生達と、大学や学部の説明、高校時代に何をしたかなどについて、ディスカッションが行われ、生徒たちには非常に有意義な時間だったと思います。

また東京・関西両東筑会が開いてくださった懇親会では、東筑の縦・横のつながりの深さと、母校と後輩達への熱い思いに感激しました。さまざまな年代や職種でこ

活躍されている先輩方と語り合い、触れ合うことで大きく人間性を高めることができ、生徒にとっては、非常に意味のある体験だったと思います。研修後、満足してキラキラ輝いている生徒達の顔を忘れることができません。最後に、この国内ジュニアス研修は、東京東筑会北村前会長（59期）、関西東筑会荒金会長（63期）をはじめとした東京、関西両東筑会の協力、援助がなければ実施することができませんでした。この場を借りて、お礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



国内ジュニアス研修に参加の116期21名 結団式

平成27年度 グローバルビジネス研修inUSA

一回り大きく成長

SSH推進班長教諭 高橋信命(89期)

平成28年3月6日から12日の日程で、SSH事業平成27年度グローバルビジネス研修inUSAが実施されました。平成25年度に開始して以来3回目となる今回は、115期・116期の合計14名が参加し、ノースカロライナ州、バージニア州、ワシントンDCの各地で大学や高校、公館、研究所等を訪問するスケールの大きな研修となりました。

初日は、成田から実に16時間、最初の目的地であるノースカロライナ州のローリー・ダラム空港に移動しました。日本を遠く離れてアメリカにきたことを実感し、生徒たちは既に興奮気味です。ノースカロライナ州では、チャペルヒル高校とノースカロライナ大学を訪れました。チャペルヒル高校での研修は、日頃から人前に立つて意見を発表することに慣れて

いるアメリカの高校生たちを前にして、英語でのプレゼンテーションを行うというものです。実践後は様々な意見をもらって本場のプレゼン術を学ぶことができました。ノースカロライナ大学では、医学部の岩田勲先生(85期)を訪ね、



ノースカロライナ大学医学部 岩田勲先生(85期)(後列中央)と夕食会場で

日米の医療制度や医療環境について質疑応答や意見交換を行いました。岩田先生は御多忙にもかかわらず夕食会場にまで御同席頂き、生徒たちとじっくり話を交わしてくださいました。

翌日はバスでハイウェイを4時間ひた走り、バージニア州へ。バージニア工科大学工学部の村山光宏教授の研究室を訪問させていただきました。キャンパス内の見学や大学院生の英語による研究説明、村山先生の講義などを体験し、世界トップレベルの研究環境を肌で感じることができました。

翌朝はバスでさらに4時間、ワシントンDCへ移動して、日本国大使館での研修です。アメリカの日本国大使館には科学班という部署があり、その役割や業務内容について講義を受けました。科学と外交の知られざる密接な関係に、生徒たちも驚きを覚えていたようです。ワシントンDCでは、ホワイトハウスやスミソニアン博物館も見ました。そして最後は、世界最高峰のシンクタンクであるブルッキングス研究所での研修です。ここでは、東アジア研究の第一人者、ミレヤ・ソリス氏に国際関係のレクチャーを直接受けるという貴重な機会に恵まれました。

研修はいずれも大変充実したもので、7日間の研修は本当にあつという間でした。生徒たちは、科学技術のこと、医療のこと、国際関係のこと、語学のこと、プレゼンテーションのことなど、様々な課題を考えを巡らせて、一回り大きく成長することができたと思います。これも、企画・準備から実施に至るまで、物心両面で支えてくださった方々のお蔭であり、まことに感謝に堪えません。とりわけ、本校SSH運営指導委員会委員長でもある九州大学中島英治教授(76期)や外務省の中條一夫氏(85期)をはじめ、多くの東筑会の先輩方に厚い御支援・御協力をいただきました。生徒たちにこのようなすばらしい研修を提供できたことにつきまして、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

九州大会金賞受賞

吹奏楽部顧問教諭 桂田なおみ(83期)

吹奏楽部は創部から56年の伝統を持ち、3月の定期演奏会、夏のコンクール、秋の音楽祭等の大会はもろろんのこと、入学式、文化祭、野球応援をはじめとした学校行事や地域での演奏活動など活躍の場は多彩です。文武両道の実現を目指し、部員全員が一致団結して、毎日練習を積み重ねています。

この度、吹奏楽部が福岡県代表として九州吹奏楽コンクールへの出場を果たしました。創部以来、初めてとなる快挙です。県大会へはこれまで15回出場しており、特にここ6年間は連続して代表に選ばれています。しかし、福岡県は実力の高い学校が非常に多く、九州大会へは僅差で代表となることができず、悔しい思いをしてきました。

本校吹奏楽部が16年間お世話になってきた、指揮者の中西哲郎先生が、ご多忙のため今年の夏のコンクールまで指導をやめられることになり、部員たちも「中西さんと一緒に九州大会に行きたい」という強い思いで日々の練習に励んできました。

今年のコンクールで演奏した曲は、課題曲「スペインの市場で」、自由曲「ウイズハートアンドヴォイス」の2曲です。課題曲はフルートとクラリネットのさわやかな音色から始まり、中盤はあやしげな曲調に変わります。クライマックスはまるで明るく活気に満ちたスペインの市場に迷い込んだかのような楽しさを感じる曲です。また、自由曲は讃美歌をモチーフにした曲です。美しく明るい曲調から、はりつめた曲調に変わり、非常に感動的なクライマックスを迎えます。聴衆を感動させることができるように、中西さんの熱いご指導の下、練習を重ねました。

7月30日にソレイユホールで行われた北九州吹奏楽コンクール。全ての学校の演奏が終わった後の表彰式で、一校ずつ金、銀、銅の発表が行われます。県大会へ推薦される学校は5校であるのに、金賞が6校発表されました。代表校として名前が呼ばれた時には安堵の声がもれ、部員一同手を取り合って喜びました。その日は遅い時間にも関わらず、駆けつ

第26回 定期野球大会 監督として6年ぶりの定期戦

野球部監督 青野浩彦 (77期)

6月2日に第26回定期野球大会が桃園球場で実施されました。好天に恵まれ予定通りに試合に臨むことができた。

私自身6年ぶりに定期戦を迎え、新鮮な気持ちとは裏腹に、周りからのプレッシャー、2か月しか指導ができていない中で選手の状況をうまく掴めていないもどかしさもあり、大変緊張した試合となりました。この年まで対戦成績は12勝12敗1引き分けと全くの互角で、今回の対戦でどちらが一步リードするのかというところで注目されています(私自身はあまり気にしていません)。しかしながら今回の小倉は昨年の秋の大会では久しぶりの九州大会出場、甲子園まであと少しというところまでいったチームです。また、4月にあった市長杯で対戦した時にはコールド負けし、逆に小倉は優勝と大変力の差を見せつけられました。そんな状態の東筑がどこまで小倉打線に対し凌げるかが勝敗を握っていると感じていました。

先攻は小倉高校、東筑の先発は梅田。小倉は近年まれにみる強力打線ですが梅田が立ち上がりをよくまく投げれば少しは勝負になるのではと内心思っていました。初回の攻撃を3人で終え、すばらしい立ち上がりを見せてくれました。裏の攻撃では、先頭の大見謝が見事に期待に応えヒット、池末が送って、梅田が返し幸先の良い先取点を奪う



ことができました。2回にも安部のスクイズで1点を追加し、3回には池末のヒットに始まり、樋口颯人、水上、梅田、山下と5連打、スクイズをはさみ安部、大見謝の連続ヒット、結局打者10人の猛攻で7点をたたき出すビックイニングを作ることができました。梅田も要所を締め、5回まで2安打0点という好投を見せてくれました。しかし、ここからが強力打線の小倉。簡単には終わらせてくれませんが、6回表には目が慣れてきたのか連続ホームランで3点をあげられました。こちらもその裏には代打能美のヒットを足がかりに、相手のエラーで加点し、追撃をかわそうと必死でした。その後も追加点をあげ、8回終わって13対4と楽な展

2016年(平成28年)6月2日(水曜日)

北九州の早慶戦白熱の定期大会2日開催

東筑 猛打で通算成績勝ち越し

小倉 永遠のライバル対決

猛打で通算成績勝ち越し

26回13局12敗1分け

6月2日の熱戦の様子がスポーツニッポンにとりあげられました

開となり、残すはあと1回のみ、気のゆるみが隙を作ってしまったのか、3回裏とは反対に小倉の猛攻を受け打者12人、ヒット7本で6点を奪われてしまいました。終わってみれば13対10の乱打戦による接戦で、安打数は東筑18本小倉14本という結果でした。辛くも勝利することができホッとしました。すつきりといかない試合でしたが、夏に向けた課題を多く残してくれるゲームでした。見る側にとって、前半は東筑優勢、後半は小倉優勢と目まぐるしい展開でハラハラドキドキだったのでないでしょうか。

定期戦は、辛勝に終わりましたが、これからが本番です。夏、秋と試合が続いていきます。同窓の皆様方には、様々な面でご支援を賜らなければならぬこともあるかと思えます。今後とも、頑張っている後輩達への応援をよろしくお願いいたします。

変化する場面を上手に吹き分け

東 筑

トップで登場した九州大会初出場の東筑は「ワイスハート アンド ヴォイス」を演奏した。暗く始まり、賛美歌を歌い上げるような中盤を経て、盛り上がりつつ終わる曲の展開が「感情を出す子の多い今年のメンバー」にぴったりと中西哲郎先生、メンバーも気に入っており、はつきりと変化する場面を上手に吹き分けた。

パティンサクスを担当した部長の吉田真菜さん(3年)は「初心者が多かったけど、自分たちが持てる力を全部出そうと思っていた。今日はうまく演奏できた。全力を出し切って疲れました」と笑顔だった。



東筑高の演奏

8月22日の朝日新聞に掲載されました。福岡県の代表として九州吹奏楽コンクールに出場した東筑高校吹奏楽部が金賞を受賞しました。

けてくれた応援部がエールを贈ってくれ、みんな喜びを分かち合いました。また、8月6日に福岡サンパレスで行われた福岡県吹奏楽コンクールでは九州大会へ推薦される学校が8校であるのに、金賞は4校しかなく、銀賞だった本校が代表校に選ばれた時には、部員全員で大歓声を上げました。しかし、県大会で銀賞だったことで非常に悔しい思いを味わった彼らは、九州大会では必ず金賞をとろうとお盆休みも返上で練習に明け暮れました。

いよいよ8月21日、演奏順が一番だったので、朝7時には学校を出発しました。九州各県の強豪校が集まる九州大会ですが、県大会よりもリラックスして最高の演奏をすることができ、目標だった金賞を見事に受賞することができました。

今回の九州大会への出場に際し、多くの方々に応援していただきました。本当にありがとうございました。この経験を活かし、東筑吹奏楽部らしい、素晴らしい演奏をし続けていきたいと思えますので、これからも宜しくお願い致します。

第3回「ようこそ先輩」講演会開催

85期事務局長 大森智己

母校では、毎年、現役2年生および1年生へのキャリア教育の一環として「ようこそ先輩」というプログラムを実施しています。東筑OBが講師となり、生徒たちに様々な仕事について概要や必要な知識と技能を話して知ってもらおう、というスキームです。3回目の今年度も東筑会総会・懇親会開催日の6月4日午前中に学校で開催されました。前当番期の私たち85期から89期までの14名を講師として人選しました。業種や職種が重ならないよう、IT、人材サービス、マスコミ、土木、建築、外交官、地方公務員、電機メーカー、弁護士、医師、金融…といったバラエティに富んだ布陣を組みました。その後、講師が学校に講演概要をあらかじめ伝え、生徒たち自身が聴講したい講師を決めます。

講演時間は質疑応答を含めて50分間です。多くの講師は、仕事では大勢に挨拶やプレゼンすることはあっても、高校生相手は初経験です。学校から講演の骨子は、①自己紹介 ②仕事の具体的内容、成功・失敗体験等 ③高校・大学時代の進路意識等 ④仕事のやりがい等 と指定されており、私も講師の一人として「まじめな話だけではつまらないし、高校生のハートをがっちり掴むには…」と仕事さながら悩みながらストーリーを考えました。

いざ当日。講師が各講演会場(教室、視聴覚室等)で教壇に立ち講演します。私は会社紹介の動画や写真を披露しながら話しましたが、生徒たちは熱心に耳を傾けてくれました。依頼を受けたときは「50分間は長い」と思いましたが、いざ本番はあっという間でした。

終了後は、講師全員と希望生徒との合同質疑応答です。感心するほど将来を見据えた具体的な質問もあり、私たちも当時を思い出しながら真摯に回答しました。回答を踏まえて自分たちなりに進路を考えてもらえたら嬉しい限りです。

数日後、生徒たちの感想を受け取りましたが、伝えたかったことがきちんと伝わっていることが分かり安心しました。生徒たちのためだけでなく、私たちもキャリアを振り返る貴重な機会となるプログラムです。今後、今後も継続いただければと思います。

最後に、アレンジいただいた東筑会事務局 局長 東筑高校 小川先生にあらためて御礼申し上げます。



将来を見据えた質問、真摯な答え —— 全講師との合同質疑

各地区東筑会だより

東京東筑会

東京東筑会の最新状況

2015年、我が東京東筑会は例年にも増して新たな挑戦を行いました。スマホアプリで「いいね東筑」、LINEに「とーちくん」スタンプ。さらに、東筑キティちゃんクリアアファイルやネクタイなど数多くの独自グッズ。これらの仕掛け人は世界初東京東筑会女性実行委員長85期長崎美穂氏だったようです。

85期は、執行部の心配をよそに前述のような挑戦をどんどん行いました。さらに名門ニューオータニにて料理の質と量を確保しつつ従来の会費に収め、クレジットカードやコンビニ支払いで会費支払いを受け付けるなどの結果、82期が2012年に打ち立てた金字塔、恐らくは地方高校による在京同窓会世界記録だった733名を破り771名を達成するに至りました。さらに何とこのことでしょうか。東京東筑会活動の源泉である年会費増へも積極的に取り組んで頂き926名と、納入者が初めて900名を超え、念願の万台1,000名への希望も持てるようになりました。

会員皆様の善意で成り立つ同窓会活動で、これらの挑戦を実際に行うのは非常に困難を極めます。長崎氏は在学中ボート部、舵手(COX、コックス)だったそうです。搭乗人員唯一進行方向に目をやり、風など環境を読み、競争相手を睨みつつ舵を切り、メンバーの力を結集させ勝利に導いていく。正しくこの1年、凄腕COXは、これまで長年に渡る先輩方の積み重ねに敬意を払い、これから支える方々の協力を取り付け、同期の力を結集し成功に導きました。同窓生が毎年楽しみにしている懇親会を



在京同窓会世界記録? 771名 ホテルニューオータニにて

成功させ、「東筑で良かった」とみんなが思える会を維持するために、絆が肝となる当番期が継続して会に関わり挑戦できるように執行部一同支えてまいります。凄腕には男女の違いはありませんが、それにして「東筑女子」恐るべし。我らの自慢です。 幹事長 西本逸郎(76期) 記

北九州マラソンに寄せて 東京東筑会ラン倶楽部

今年も晴れた！ 2014年市制50周年記念で開催された北九州マラソンも早3回目。初回が曇り時々雨、2回目の昨年も門司で電交じりの強風に苦しめられました。北九州市に根付き、全国のランナーからも支持された北九州マラソンによくお天気が味方してくれたようです。

悪天候の中、笑顔で対応して頂いたスタッフの皆様、応援の皆様、ボランティアの皆様には何度、お礼を言っても足りません。記念大会で1回のはずだった大会も市民の方やランナーの後押しで連続開催となりました。今年の開会式で安川電気会長からも今後も大会を続けるとの力強い言葉もありました。今や全国で1,000を超えるマラソン大会の中で人気投票100選(順位)にも選ばれています。初回から抽選の大会にも関わらず、連続で走らせて頂き、ありがたいことです。

現在、東京在住82期の私は東京東筑会ラン倶楽部に所属。当日走るメンバーは揃いのTシャツでスタート前に集合するのが恒例行事となっています。故郷開催のためメンバーの殆どが申込みますが、今年の当選者は6名。次回はもっと増えるといいのですが。



第3回北九州マラソンに当選
東京東筑会ラン倶楽部6名

さて、3度目となる今回、練習不足の私は記録は狙わず、ファンランに徹する！と決め、応援にきてくれた同窓生たちと一緒に写真を撮る、エイドのフードも完全制覇することにしました。スタートから毎年応援に来てくれていた同期とパチリ、ゴールまでに数名と写真を撮ることで済ませました。エイドも栗饅頭、小倉牛などは完全制覇した。スタートからゴールまでの5時間、今年も変わらぬ沢山の応援に加え、北九州の味も満喫した楽しい大会となりました。ありがとうございます。当選倍率は更に上がるとは思いますが、来年も走ることができそうです。

(守田洋一 記)

上総東筑会

第26回上総東筑会総会・懇親会は、3月18日(金)に東筑奨学会 小野見理事長、東京東筑会 大井恭二副会長(62期)ならびに臼井信吉氏(86期、当番期)を来賓としてお迎えし、参加者21名で千葉県君津市のホテル千成で開催致しました。千葉県の上総地区(君津、木更津、富津、袖ヶ浦)ならびに千葉市在住の51期(昭和28年卒)から102期(平成16年卒)と幅広い年代の方に参加頂いております。

総会では、松永久義会長(68期)の挨拶、小野見理事長、大井副会長の来賓挨拶の後、審議事項である会計報告、予算案の審議、承認を行いました。

その後、開催された懇親会では、冒頭で上総東筑会の運営に永きにわたり貢献頂きました故矢野孝幸氏(80期)を偲び、黙祷を捧げました。

初参加の方の自己紹介や近況報告、当番期からの東筑会総会、東京東筑会総会の紹介を行いながら、当時の話が花が咲きました。年代が違っていても同じ地域で暮らし



幅広い年代の参加 上総東筑会

たり、同じ部活に所属していると、相通じるところがあるようです。

最後に応援団出身の藤川秀樹さん(78期)、今村尚近さん(84期)のリードで校歌斉唱、エールを行い、会を締めくくりました。

参加頂いた方、近況をご連絡頂いた皆様どうもありがとうございました。上総地区ならびに千葉県在住のOB、OGの方、是非来年の上総東筑会にご参加下さい。

事務局 平山 隆(86期) 記

東海東筑会

平成27年から平成28年にかけての活動を報告いたします。

平成27年11月29日(日)第17回テカ会は、現在復興中の名古屋城見学、四間道武家屋敷街、円頓寺商店街の散策を楽しみランチで終えました。また平成28年1月17日新年会を開催し親睦を図りました。

平成28年4月17日(日)第30回東海東筑会総会を「ホテル・ルプラ王山」にて開催



新しい参加者も増え盛り上がった東海東筑会

いたしました。今回も本校また他地区東筑会よりご出席がかなわず残念に思っております。

中松副会長、服部副幹事長、佐伯幹事のご努力により新しく参加者も増え、関西東筑会より竹下宏樹様(85期)がご参加、また会員の奥様方のご援助により華やかな懇親会となり、グッズ販売、ビンゴゲーム、写真撮影、校歌斉唱(服部副幹事長の管楽器演奏)などで最高潮の盛り上がりで幕を閉じ、再開を期し散会いたしました。

7月には、名古屋市内の古民家レストラン「別館ツル」にて夏季納涼大会を開催、多数のご参加で大いに親睦を深めました。本会は会員同志の親睦を中心にて活動を進めて参りたいと考えています。

東筑会の益々の発展を祈念いたします。
事務局 木村睦彦(56期) 記



関西東筑会名物 3番までの校歌大合唱

平成28年度関西東筑会総会・懇親会が5月28日、兵庫県西宮市の甲子園球場に隣接する、ノボテル甲子園・鳴尾の間で開催されました。総会に引き続き行われた懇親会は52期より114期までの180名(うち当番期応援49名)が参加、東筑高校校長花岡俊彦様、東筑会副会長長福山岳彦様、東京東筑会副会長大井恭二様、本校当番期会長岩男剛様のご祝辞をいただきました。今回は13名の現役大学生が参加していただきました。恒例の大学生の紹介のコーナーでは、自己紹介とともに将来何になりたいかを先輩に伝える場として大いに盛り上がり、その中に女性の応援団出身の方がいらっしやっただので、フィナーレでの出番を期待したところでありました。

お楽しみコーナーは、東京で活躍されている89期の林家きく磨さんをお願いを致しました。きく磨さんの独演会は九州の方言を巧みに入れられたお話で、笑いの質が高いと言われる関西にありながらも会場は大笑いの渦に包まれ、先輩も後輩も幸せな時



福引に出された高ヘッドコーチのユニホーム

を過ごしました。さすがでした。最後はもちろん、関西東筑会名物である三番までの校歌の大合唱です。富永副会長の脇には83期の金子と期待通り先ほど自己紹介をした大学生の方がつき、全員で肩を組み、ぐるっと輪になって(しおりで二番三番の歌詞を追いかけながら)気持ちを込めて歌い上げました。感動的でした。

今回は、関西在住の当番期である83期が少なかつたため、準備段階からご心配をお掛け致しましたが、関西東筑会の幹事の方のアドバイスを大いにいただきながら、また、関西以外の東京、九州を始め全国の83期に助けられながら運営を致しました。皆様の熱い支援があつて開催できた懇親会であつたと思います。

ごく近い将来に、甲子園球場で校歌を歌う日がくることを全員で楽しみにしながらの散会になったと感じております。関西東筑会の懇親会は、九州でも東京でも会えない同窓に久しぶりに会う機会であると思えますのでお気軽にご参加ください。

竹崎信二、佐藤健介(83期) 記

広島東筑会

広島東筑会の開催日について当会には特別な事情があります。それは広島東洋カープのスケジュールに合わせなければならぬというものです。当会には84期の高さん

ふくおか東筑会

平成28年「ふくおか東筑会の総会並びに懇親会」は5月21日(土) 17時から天神スカイホール(旧福岡国際ホール・福岡市中央区天神)で、来賓に高山東筑会会長、本校の花岡校長と上杉事務長をお迎えして開催され、42期から106期まで140名が集いました。

総会の中では、花岡校長から本校の現状報告がありました。

続いて、恒例の会員による卓話は本年は書道家の山口蝸牛(裕史)氏(70期卒業)にご講話をいただきました。



会旗をバックに校歌斉唱 天神スカイホールにて

「ふくおか東筑会の会旗」がステージ上に掲げられました懇親会では、高山東筑会会長のご挨拶、小田原ふくおか東筑会顧問(60期)の乾杯ご発声に続いて、今年、91歳になられる42期の上野裕巳氏と原田勲氏が闊達なスピーチをされ、会場が大いに沸きました。

また、本年の本校同窓会の当番期である86期の皆さんが岩男会長はじめ多数出席をされまして出席者から盛大なエールを受けました。

最後に出席者全員で肩を組んで大きな輪をつくり、校歌を高らかに斉唱して、今年の「ふくおか東筑会の総会並びに懇親会」はお開きとなりました。

なお、ふくおか東筑会のシンボルとして昨春、博多区の榎田神社に隣接します冷泉公園の一角に植樹しました。そめい吉野・東筑桜は幼木ながら、早くもこの春には、美しい花を咲かせてくれました。

来年の花見の時事には是非冷泉公園にお立ち寄りください。

事務局 富増春樹(85期) 記

芦屋東筑会

会員の皆様、芦屋東筑会会長を務めさせていたでいております62期の徳田徹と申します。

さて、第39回芦屋東筑会総会・懇親会を、平成27年10月24日(土)に「マリントラスあしや」で開催いたしました。当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」・近隣七つの地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ59名の出席者で会場は一杯となりました。

第一部の総会は、はじめに物故者に黙祷を捧げ、来賓の紹介・祝辞、議案の承認と恙無く終了しました。ご承認いただきました新役員体制で一丸となり、これからも情熱を持って芦屋東筑会の運営に取り組んで参る所存です。

第二部の懇親会では、校歌斉唱から始まりました。歌い終えた頃には、誰もが学生時代に戻ったかの様な和やかな雰囲気となり、どのテーブルでも昔話に多くの花が咲いていました。毎年恒例の豪華賞品が当たってお楽しみ抽選会では、歓喜と落胆の音が交錯しながら、盛会のうちに終了の時を迎



和やかに、昔話に花が咲く第二部の懇親会 マリントラスあしやにて

えました。会場の外では次回総会での再会を期し、いつまでも別れを惜しむ方で溢れていました。

開催に際して若い会員や2016年本校同窓会当番期(86期)の方たちには、受付や案内・接待などのお手伝いをしていただき、誠にありがとうございました。皆様のご協力により27年度の総会・懇親会が盛会のうちに終了できましたことを、心より感謝し厚くお礼申し上げます。

今年の芦屋東筑会総会は、平成28年10月15日(土)18時から「マリントラスあしや」で開催予定です。芦屋町に縁のある皆様、芦屋東筑会への入会や総会参加をお待ちしております。今年もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、会の運営・発展に努めて参ります。

会長 徳田徹(62期) 記

岡垣東筑会

平成28年度第41回岡垣東筑会の総会並びに懇親会を4月16日(土)に野々庵で開催いたしました。高山和幸東筑会会長、本校の花岡俊彦校長、石川一仁教頭をはじめ、近隣の東筑会の来賓の皆様、総会当番期(86期)の若岩剛会長他、7名のご臨席を賜り、計53名のご出席を頂いて、会場一杯となりました。

総会では、前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案通りに承認されました。

懇親会では、刀根博愛顧問より、プレゼント付のクイズ大会が開催され、会場が大変盛り上がりしました。祝宴では、どのテーブルでも、近況や学生時代を懐かしんで思いう話に和やかな花が咲いていました。最後に、校歌を声高らかに斉唱して、名残惜しい中閉会いたしました。今後も旧役員様の功績に恥じないように



総勢53名会場一杯の出席者 野々庵

努力を積み重ね、会の運営・発展に努めてまいります。

また皆様と元気な姿でお会いできることを楽しみにしておりますので、入会や総会へのご参加を心よりお待ちしております。

会長 深田高一(62期) 記

遠賀町東筑会

遠賀町東筑会は昭和47年9月に発足し、今年で44回目の総会を9月3日に迎えます。近隣地区東筑会は北九州くきのうみ、水巻、芦屋、遠賀町、中間、フレンドリー鞍手町、岡垣、宗像と8地区あり、その中で遠賀町東筑会は、一番先に結成された長い歴史のあるOB会です。昔から農業主体の町であり、その影響を受けてか活動にも派手さはなく地道な歩みが続けております。

会の主な活動として、

- (1) 会報(筑友)を7月に発行
- (2) 9月第一土曜日に総会・懇親会の開催
- (3) 3年毎に会員名簿の発行

昨年(第43回総会・懇親会)は9月5日に開催いたしました。今まで会場として使用していた遠賀コミュニティセンターが改

修工事のため使用できず、駅前の遠賀川公民館で実施いたしました。

来賓として、高山東筑会会長、花岡東筑高校校長、石川教頭をはじめ近隣地区東筑会役員の皆様にご臨席を賜りました。また、86期当番期8名の皆さんも挨拶とお手伝いに来ていただきました。

また、会員さんも64名出席され、総員80名の大盛況でした。18時半からの総会はスムーズに終了し、皆様待ちに待った懇親会に移りました。フレンドリー鞍手町東筑会坂本会長(57期)の乾杯発声で懇談に入り、楽しい雰囲気のもとアツという間に時間が過ぎました。最後に校歌を合唱し、万歳三唱でお開きといたしました。

会長 古畑善章(54期) 記



第43回総会・懇親会 総員80名で大盛況 遠賀川公民館

中間東筑会

平成28年4月23日、なかまハーモニホールにおいて、平成28年度中間東筑会を開催しました。中間東筑会は隔年の開催としており、東筑高校同窓会から高山会長、東筑高校から花岡校長はじめ、近隣東筑会



「お・も・て・な・し」に集う120名余 なかまハーモニーホール

今度は、86期の精鋭たちを役員が接待する番です。恐縮しながらも楽しみに、そして真剣に、本会総会に向けた打合せに余念のない姿が印象的で、彼らなら立派な総会を引き継いでくれるはず、と、役員誰もが顔をほころばせた楽しい会でした。

今回は平成30年4月の開催予定です。当市会員以外のご参加も、もちろん大歓迎ですよ。

事務局長 船津喜久男(79期) 記

フレンドリー鞍手町東筑会

呼子朝市と波佐見焼見学ツアー

昨年10月7日、フレンドリー鞍手町東筑会では毎年恒例となっており、日帰りツアーを開催いたしました。17名の会員の皆さんに参加いただきました。今回は絶好の秋晴れに恵まれた一日でした。

最初に訪れたのは佐賀県呼子の朝市です。平日ではありましたが、朝市の目抜き通りはたくさんのお客で賑わっていました。参加メンバーの皆さん、売り手のおばちゃんたちとあれこれ駆け引きしながら面白い物を楽しんでおられました。昼食は、港の波止場を目の前にした「ふく萬坊」です。名物の「烏賊しゅうまい」のほかヤリイカの刺身などを肴に、昼間からそれなりにアルコールがまわりました。

つづいて有田、波佐見焼の窯元へ移動し、最初に訪れましたのは「陶芸の館」でした。ここには数多くの波佐見焼窯元の製品が集められていて展示即売しています。最近のNHKのテレビ番組、「美の壺」や「イッピン」で取り上げられていました製品もじかに現物を手にし購入することもできました。

つづいて波佐見焼の窯元企業のひとつ白山陶器株式会社のショールームへ移動。こちらももちろんあの有名な「G型しょうゆさし」



恒例のツアーに参加の面々 佐賀県呼子 ふく萬坊にて

のほか極薄白磁の生活用品などがたくさん展示即売してありました。波佐見焼は伝統的な有田焼から離れ、斬新なデザインで使いやすく日常生活になじんだ製品を数々生み出しているようです。ここでも、皆さんそれぞれにお気に入りの焼き物を見つけ手に入れられたようでした。

こうしてアツという間に一日は終わり、出発地「くらの郷」に帰り着いた頃にはもう午後5時半を過ぎていました。今年も10月18日、日帰りツアーを行いますので是非ご参加下さい。

また、本会は鞍手町内在住の卒業生の方々と鞍手町出身で町外にお住いの方々の会員を募集しています。事務局梶栗(電話0949-142-0533)へご連絡下さい。宜しくお願い致します。

事務局 梶栗浩二(69期) 記

北九州くきのうみ東筑会

「おりお」↓「くきのうみ」拡大・展開を昨年、発足第25回目の節目の記念誌を発行しました。10月17日の総会は、当番86

期の絶大なご協力もあって、120名を超える会員さんが参加されました。また、恩師である音楽の原田テルミ先生をお招きしました。張りのある声でアカペラでブッチーニの Aria を歌い上げられ、会場に感動を巻き起こし、フィナーレには校歌斉唱の指揮を執られ、引き締めて頂きました。恒例の「くじ引き」に加え、「ジャンケン大会」も楽しく盛り上がりました。皆様のご協力に感謝し、努力し甲斐があったと役員一同喜び合いました。

「北九州くきのうみ」と改称して、3年になります。残念ながら、「くきのうみ東筑会」の意義と存在は未だ十分に認知されていません。「おりお」↓「くきのうみ」に応じた意義付け、運営組織、役員構成を目指し、拡大部推進エリアマネージャーの選任や若い人達のアイデアや推進パワーの集約を図っていく必要があります。出席者データの整備と市内在住同窓生への連絡網の拡充を図り、地域同窓生集いの機会や場の提供を目指し、役員一同、試行錯誤しながら、より良い新組織を創る努力を続け



原田テルミ先生の美声に感動、校歌斉唱の指揮でフィナーレ



次回も元気で、もっと多くの参加を

第15回平成28年度水巻東筑会総会・懇親会は、さる5月21日(土)に水巻商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣

水巻東筑会

ていきます。
今年の総会は、会場を黒崎に移し、
・日時・平成28年11月19日(土) 17時〜
・会場・「ホテルクラウンパレス北九州」
で開催予定しております。
楽しい語らいの時と場を用意できるような努力を重ねます。お友達やご近所の方にもお声掛け、お誘い合せ頂きまして、より多くの同窓生のご参加を心より願っております。
事務局 内山洋二郎(61期) 記

平成28年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月10日(日)に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。
当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期(86期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。
総会では、前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。
引き続き行われた恒例の講演では、歯科医師の村田 博志氏(87期)より「今、私がやっていること(歯科医・ラグビー・家族)」と題して、ご自身の歯科医としての経験や、東筑高校在学中のラグビー・特に今売り出し中の五郎丸選手のことなどについて熱く語っていただきました。
また、懇親会では初めて参加された方に

宗像東筑会

東筑会の来賓、東筑会総会の当番期の方々のご臨席を賜り、会員と合わせ60名の出席者で会場は一杯となりました。
前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支決算案が提案どおりに承認されました。
また、役員改選が行われ、新会長に安部 久喜(56期)が就任しました。
懇親会では、学生時代を懐かしんで思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに斉唱し名残惜しい中、閉会しました。
次回もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、もっと多くの同窓生に参加してもらえよう会の運営・発展に努めてまいります。
事務局長 友廣大祐(90期) 記

ひのくに東筑会に各地区だよりを依頼したところ、宮川事務局から次の趣旨の文と共に投稿がありましたので合わせて掲載いたします。
.....
原稿は、私達被害のほんの一部分、自分の身の回りだけしか知らないもので、仕事で各地取材して広く見聞きをされている方に頼もうという事で会長と相談し、原稿を依頼しました。
筆者は地元テレビ局の熊本朝日放送のアナウンサーで今年入局3年目の若手で頑張っている柴田理美さん、東筑107期のホープです。
写真もといわれましたが、自宅の被害状況や関係先の写真はわかりかねいので、これも柴田さんに提供していただきました。

熊本地震
熊本地震に際して、東筑会総会、関西東



益城町 住宅街地割れ



崩れ落ちた阿蘇神社社殿

14日、私は21時過ぎに仕事を終え友人の車に乗り古本屋によった帰りでした。発災すると目の前のガソリンスタンドの看板が大きく揺れ、店のガラスが割れました。直後に会社のある二本木界隈をハンデイクム
お話ししていただいたり、校歌を歌ったりして、終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。
さて、宗像東筑会の活動としては毎年恒例の「宗像環境フェスタ」のリサイクルマーケットに出店しております。東筑高校の轍を掲げて地域活動に積極的に参加しております。ぜひ一度参加してみませんか。
最後に、「この会報をこらんなった宗像・福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会に是非ご出席いただき、よき時代を思い出そうではありませんか。」
ご協力宜しくお願いいたします。
事務局長 門司 剛(63期) 記



記念講演の村田博志歯科医師
玄海ロイヤルホテル

筑会、東筑ゴルフ会等の多くの皆様から義援金をお寄せいただきひのくに東筑会一同心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
4月14日の前震、16日の本震と二度の震度7を経験した熊本県は甚大な被害を受けました。私は現在、熊本朝日放送で記者とアナウンサーとして仕事をしています。その中で体験談を、という事でしたので拙文ながら書かせていただきます。

で取材、その後本社から益城へ向かいました。益城町安永(地区名)の住宅街で火事が起きていて夜通し中継をしていたのですが、合間に大きな余震が来た際は、目の前で建物が一部崩落しました。例えるなら電車が急停止したような、立っていられない揺れです。

それが益城で味わった震度六強、数分間隔で来る「余震」にすぎないのです。へルメットを被っていたとはいえ、立ち位置には常に警戒しなければなりません。役場には常に警戒し朝を迎え、翌日(15日)の23時ごろまで現場で取材・中継続きでした。疲弊した町民たち、炊き出しの自衛隊、自分のことを棚に上げ総出で働く役場職員、全国から集まるマスコミ・・・異様な光景です。私達クルーはその2日何も口にしていませんでした。勿論トイレも行けません。個人で持っていた水で耐えられたのは運が良かったとはいえ、過酷でした。体力のあるカメラマンも中継後意識がもうろうとする事もありました。やっと帰宅したのも束の間、約一時間後に16日の夜中に本震を迎えました。出社後再び益城へ。日が高い間に住宅街を歩き回り電線がぶら下がり、大きく地割れし、人が崩壊した家の下敷きになっっているといった光景はまるで「戦争の後のよう」でした。

その後、熊本市内の被害や、避難所でも取材・中継することがあったほか、特集を制作しています。本音を申し上げますと、中央や他県から放送局の応援が来ましたが、その方々と在熊局にはギャップがあったのが事実です。大変ありがたかったのですが、言葉や行動の端々に被災地・被災者を「ネタ」として扱う部分を感じることがありました。それは被災した視聴者であればなおさらです。その分、私たち自身「被災者」として共感し、その場に何が必要か把握出来ることは強みだ、と言いつつも取材してきました。地元局として今後10年ももわたって伝達を継続する。これからはも

う「地震後の熊本」なのです。

約一週間ぶりに玉名市の友人の家でお風呂に入る事ができたとき、やっと生き返った気がして「ああ、死ぬかと思った」という言葉が漏れました。一人暮らしの自宅は建物自体大丈夫なようですが、家具は壊れ、しばらく水が出ませんでした。今は片付けて生活することが出来ています。しかし、家や仕事を取り戻せずにいる人が今も大勢います。震災関連死の人数もじわじわと増えています。そんな人たちと関わり続けること、絶対に1人にしてはならないというのが大切なことだと思います。加えて、会社でもどうしても心の余裕が無くなってしまおうときにもフォロワーでできるエネルギーが必要だと感じました。テレビ局でなくともどの場所でも働く人でも同じだと思います。

熊本に家族を持たない私のような者が、一度深呼吸して周りを見回し家族の心配をする人のサポートをすることも必要。一方で人生経験豊富な人が下を気遣うことも必要。持ちつ持たれつ、自分たちの可能なタスキングでできるだけ声を掛け合い、「一人にしない」ことで回っていく。

今の段階では、被害の大きかった地域で人を追って取材している班がいくつもあります。再起に向けて頑張る人を特集し続ける節目に九州区全てで放送した特番を他県の人からも「勇気をもらった」「熊本に直接行って応援したい」という声をもらい、元気づけられています。これからは検証と復興への変化を記録し続ける必要があり、同時に県内の人と関わりながら生きる力をもらったり届けたりして暮らしていこうと考えています。

皆さん、日頃からの「備え」は本場に「命綱」です。水や食料、電源など物理的なものは勿論、同時に周囲に住む方々とのコミュニケーションと繋がりこそ生きるか死ぬかの境目になります。どうか、家族や友人(東筑出身者同士のつながりも)生きて

いる間大切に過ごしてください。そしてできれば、是非熊本に足を運んでみてください。

柴田理美(107期)記

北海道東筑会

1年間の活動をご紹介させていただきます。

◎ビール会(8名)

昨年8月、さわやかに晴れた夏空の下、テレビ塔直下の「クラシックビアガーデン」でジンギスカンを焼きながらビール会が開催されました。2年続けて福岡から旅行中の先輩も参加されました。締めは大通り公園での校歌斉唱とエールで心地良い時をすごしました。

◎忘年会(9名)

「博多ぶあいそ別邸」でも鍋を囲みました。年少者から順番に近況報告を頂きます。福岡の男は語り好きなのか、あつという間に時が過ぎ、いつも時間が足りなくなってしまう。外は氷点下ですが、ごちそうと懇親で心も体もあたたまりました。離れの部屋ですので、周りに気がねなく「元氣よく」校歌とエールを楽しみました。

◎総会・懇親会(12名)

今年も5月14日に「サントリースガーデン(86期)」に於いて開催されました。当番から駆けつけてくださり、持参された「鰻脂色の野球帽」や「寛かなれ東筑タオル」が皆様に喜ばれ完売でした。娘さんの許に遊びにいらしていた城戸先輩、遠い函館から初めて参加してくださった山崎先輩、大学生の佐藤さん、ほぼ皆勤賞の村上先輩の華やかな4人の女性が、懇親を盛り上げてくださいました。皆様からの近況報告は今回も時間が足りず、締めの校歌のテンポが少し早かったかもしれません。

来年ようやく5周年になる駆け出しの東筑会です。沖津会長をはじめとした、ここ

を終の棲家とさだめた大先輩の皆様や転勤で加わったり、離れたりする先輩後輩、大學生の皆様と年齢層も幅広く、毎回少しずつ顔ぶれが変わりますが、顔を合わせた瞬間から打ち解けられるのは「東筑魂」のおかげですね。今後も会員相互の親睦を深め、さらには東筑会との連携を強めていける機会があればと願っています。

白石 誠(82期)記



北海道東筑会総会・懇親会に参加の「東筑魂」サントリースガーデン



各期だより

39期だより

東筑健児よ!!世界に羽搏け!!

会報が読みやすく活力あるものにした

秋が冬がやって来るんだよ。我等、同期

教育によってこそ、人は人となるので

成には、それに通じる、文・理・天文・芸

42期だより

卒寿を越えて

我々42期生は大正14年生れで、東筑には

この5年間は日増しに戦時色の強まる中

苦楽を共にして思い出を共有する我々は

42期会を毎年続けている内に、平成5年

(1) 級友の書家 吉永秀峰君(日展会友)

(2) 記念誌 東筑42期生の半生記

を刊行し、思い出を確かなものにした。

その後、入学当時に眺めた校庭の桜の感

が、激動の昭和時代は我々の人生そのもの

(幹事 吉田繁美 記)



今なお昼食会を継続の42期生

49期だより



元気に来年の再会を期して

晴れ渡った秋空とともに、菊薫る時期と

同期会永田会長は挨拶で、近隣・連絡か

人会体制の改編成を行い、連帯感を強めて行くことを強調されました。物故者について、全員で黙祷を奉じ、ご冥福を祈りました。歓談に移行し、美味しい料理に舌鼓うち、美酒を酌み交わしながら、過ぎし青春の日々を語り、会える身の幸せと奇しき縁をつくづく感じながら、大いに盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。催物では、フランダース6名で、4曲を曲に合せて色彩も艶な衣装で、ムード漂う演技を披露されました。バンド演奏はオールスターズを10名で校歌・演歌・民謡・合唱等多様に行われ、大いに感動の連続で楽しめました。カラオケでは歌唱力に自信のある方が交互に参加され、楽しい雰囲気盛り上がりしました。

閉会のことばとして、力強く生きて、又元気な姿で再会を誓いました。次回の同期会は11月10日(木)ホテルクラウンパレス北九州で開催します。たくさんのご参加をお待ちしています。
なお未参加の皆さんは、今年こそ参加して同期会を盛り上げて下さい。
(上野政雄 記)

50期だより

『ありがたや、笑顔溢れて50期万歳』
私たち50期の元気な仲間25人は、平成28年5月10日の正午、北九州市八幡西区黒崎の料亭「古仙」に集まり、昼食会を開いた。

丁度一年ぶりだったので、おいしい日本料理とお酒と、楽しいおしゃべりで、同期会は最高の盛り上がりだった。
みんな昭和8年生まれの83歳。太平洋戦争に敗れた翌年4月に、当時の国民学校6年生から旧制東筑中学と旧制折尾高校に入学した最後の世代である。

私たちは、旧制中学と新制高校の計6年間を一緒に過ごしたので、友情と団結

の堅さはどの先輩よりも、まさっているところも確信している。

これまでも、還暦祝い(福岡県二日市温泉)をはじめ、古稀祝賀夕食会(ステーションホテル小倉)、喜寿を祝って奈良京都旅行、さらに祝傘寿別府旅行(1泊2日)を実施してきた。

幸い、みんな健康に恵まれているので、花も嵐もふみ越えて、米寿を迎える日まで同期会を続けたい、と念願している。
(福岡支部 高崎剛夫 記)



昼食会に83歳25人参加 「古仙」にて

53期だより

古希、喜寿、傘寿を祝うのは、一般的には、数え年でそれに当てるようですが、数え年がすでに死語になった現在、満年齢でそれに当てるのは合理的ではないでしょうか？

それはさておき、私達53期は東筑高校を卒業して60年になります。古希、喜寿を通

過し、今年度一杯で全員が、満年齢で数えても傘寿を迎え、全員が満80歳に突入することになります。

この10年間を振り返ってみると、毎年のように、数多くの同級生が病に倒れたり、亡くなったりで、だんだん淋しくなってきました。とは言え、一昔前に比べると皆随分長生きするようになったこともまた実感できます。

約40年近く続いている、毎月の27日会は人数がすこし少なくなりましたが、それでも10名近くは「おりお村」に集まってワイワイやっています(12月27日は忘年会で30〜40名が集まります)。

遠くにお住いの方でも、27日ごろに帰郷されることがありました是非参加をお待ちしています。
(小野亨雄 記)

56期だより

喜寿記念旅行

56期会は、卒業21年に第1回の同期会以来、15回開催しました。内、旅行は56歳・還暦・古稀の記念等で6回開催、卒業50年記念は2回目の修学旅行として箱根・鎌倉の旅でした。

同期生の数は年々微減し、増えることはありません。同期会も然りですが、惜春の集いであり、逢える喜び、いつまでも健やかであれと励ましあう会でもあります。

今年度は、喜寿を迎えるのを記念して旅行を企画しました。

10月14日に1泊2日ですが、古都奈良の世界中を光で満たす廬舎那仏や天平の傑作阿修羅像、平成の大修復で甦った華麗な平等院鳳凰堂や源氏物語宇治十帖の舞台などを訪ねます。

77名の参加を期待し、祝宴や珍道中が楽しみです。
(会長 田中康敬 記)

57期だより

57期で文化祭をしよう

57期で文化祭をしようとの声で、世話人会が動き始めました。

開催時期は77歳を迎える2017年、日時は東筑OB会の総会予定の6月10日を含めた1週間を予定しています。

開催場所は5カ所ほどリストアップしました。

人が集まりやすい黒崎駅近くのコムシティを一番候補にしましたが、抽選会等があり、11月中旬でないかと確定しません。

経費は会場費、案内状、通信費等を考慮すると10万円程度は必要です。また北九州以外からの出品については、往復の送料も必要となります。

経費の捻出は大きな問題ですが、出品者から負担金をいくらにするかも問題です。作品の出品のお願い期の行事として開催しますので、沢山の出品作品が集まるか? 参加人数がどの位かも気になります。

前回の「57期だより」でもお願いしましたが、まだ提出されていない人は、ぜひ連絡をお願いします。

作品の種類: 文芸(詩・短歌・俳句・川柳など)

絵画・絵手紙・書道・写真・刺繍・人形・造花・陶器・生花・工作品・クラフトなど

ハガキの近況欄に出品作品名を書いて下さい。

あの人こんな事をされている、とかの情報がありましたら、世話人まで連絡頂ければ、幸いです。本人への出品のお願いは世話人から致します。

前回の新年会・夏の同期会で文化祭への協賛金として4万円近くを参加の方から頂きました。御協力ありがとうございました。

世話人会を充実させるため世話人の数を

増やす事にしました。ご本人へ直接お願
いしますのよろしくお願います。
(二村泰絵 記)

59期だより

鹿の子百合と59期のころ

今年も、中間市底井野にある月瀬八幡宮に、鹿の子百合が咲き溢れました。花に誘われ見物者も多く、築山を埋めたピンクの鹿の子百合に癒されながら境内にしつらえられた茅の輪をくぐります。厄払いして今後半年間の無事安全をねがいます。この百合は新聞などで紹介され、今年も佐賀のほうからも参詣。この月瀬八幡宮宮司は59期佐野正稔さんで地元59期会のオアシスとして年何回か懇親会の場など利用させていただいております。

私たち59期は後期高齢者手前の74歳、一病息災状態の者も増えてきておりますが、毎年6月の同窓会に参加は50余名、お互い顔を見て話もいろいろ、東筑気質ならではの盛り上がりです。毎年東京から北村憲男さんも参加です。過去6年、東京東筑会会長として東京総会を参加者800名超えの盛大なイベントにし、関東圏での同窓生の交流に大きな貢献を果たしました。ご苦労様でした。

東京在住の山保櫻華さんが全国書道界



第34回日本詩文書作家協会書展で揮毫の山保櫻華さん

から選ばれる「第34回日本詩文書作家協会書展」に出品、席上揮毫も任せられました。昨秋書燈社展で、第一回都知事賞の受賞に次ぐ快挙で、いよいよ書道界大家へと一歩を踏み入れました。彼女の粘り強い性格、研鑽精進は誰もが認めるどころです。ご家族の支援協力もおおきな力だと思えます。地元では59期生の幾人かは歴史研究、ボランティアガイド、軽音楽サークルなど、また洋画家として、地域文化人？として社会参画してお互い意識を高めております。大崎好一さんがスケッチ画文集「遠賀川ふるさと散歩」西川幸夫画伯共著を出版。彼は地元歴史研究に造詣が深く、講師として呼ばれることもあり、文化伝道師として活躍しています。この画文集は馴染みの遠賀川界隈の紹介で、身近な歴史が感じられわかり易く好評です。来年も50名を超す同期と再会できる6月同窓会を信じてます。我々の誇りです。

(幹事 仰木三知子 記)

61期だより

第21回「温泉がらり旅」

今年で21年目を迎える旅行であるが、出発前日の夕方に2名の男性から奥様が急病となり看病の為欠席すると言うドタバタキャン発生「さあ困った」宿に事情を説明、平謝りしどうにか納得してもらった。

4月12日は快晴に恵まれ、18名は水巻のギャラリィ喫茶「竹の子」を10時に送迎用のバスで熊本に出発。3号線を走り古賀インターに入る前から差し入れのビールを待ち切れず飲み始める。いつもの光景である。バスに揺られながらほろ酔い気分です。車中はワイワイガヤガヤで気分は学生時代に一気に戻る。そうこうしている内に基山パーキングに到着。ここで一息入れこれより目的地の「みやばる温泉長命館」を目指す。旅

館の名前がいかにも長生き出来そうな感じに気に入った。宿は植木インター近くの平野の静かな所に佇み、正午ごろ到着。昼食をとり、昨年に続いての二回目となるグラウンドゴルフに興じる。一汗かいて温泉に入るが、この旅館のうりが赤湯と白湯と言う天然かけ流しの温泉であった。さっぱりとし夕方より楽しみの宴会が始まる。この館長は有名料理店のシェフで美味しい料理が運ばれ大変満足である。時の経つのも忘れカラオケを楽しむ。

翌朝早めに起床し温泉に入りゆつくりと朝食をとり9時に旅館を出発、これより昨年と同じコースを辿りダルマックスの工場を見学する。睡眠がいかにか大事か、その為に布団がいかにか大切かを勉強した。これより柳川に向かって出発するが途中で雨が降り出し昨年に続いて今回も川下りが出来ないうのかと心配になるが柳川に近付いて来ると雨も上がり薄日が差し始める。昼食にうなぎのセイロ蒸しを食べ川下りの船に乗り込む。船頭の話や歌を聞きながら時がゆつくりと流れる。帰りにみやげ店に立ち寄り無事に水巻に到着。あつと言う間の楽しい2日間であった。(幹事 古賀正博 記)



みやばる温泉「長命館」前にて

63期だより

古稀同期会に143人集結!



5月11日 3日目の出発の前に 大谷山荘

5月9日 夕方5時集合と言うのに待ちきれず、正午頃に博多に到着する者多数。卒業して初めて会う人もいた。初めに学級ごとの記念撮影。6時からメインパーティーは始まった。ANAホテルのフロアは143人で埋め尽くされ、食事もそこそこに、おしゃべりに余念がない。校歌斉唱&万歳三唱で、会は終わった。その夜、中洲に練りだすグループ、ホテルのラウンジで二次会をするグループ、部屋で話し込むグループ、家に帰る人たち：博多の夜はいろいろな形で更けていった。

5月10日 ANAホテルでお別れする友の見送りをうけながら、バスは萩に向けて出発した。萩焼会館での昼食。その後萩反射炉・松陰神社・萩博物館と雨の中見学を終え、2泊目の湯本温泉「大谷山荘」へ。まずは入浴。疲れを落として、2日目の宴会へ。大広間にテーブル&椅子の大宴会。「祝い酒」の替え歌を歌い、カラオケで盛

り上がり、最後は「人生いろいろ」の曲に合わせて「炭坑節」の総踊り。全員で踊って、とても楽しい宴会だった。夜はホテルのスナックで飲んだり歌ったり。お疲れ組は部屋でおしゃべり。

5月11日 大谷山荘でお別れする友の見送りを受けて、バスは出発。角島大橋・唐戸市場・関門連絡船に乗船・門司港レトロの見学で古稀旅行の全行程は終わった。

バスでの移動は、自分たちだけの空間。思い切り喋った。思いっきり笑った。今回4コースに分けて参加者を募った事で思いがけない多人数の参加があり、本当に楽しい3日間だった。

今後は体につけて、喜寿・米寿と記念同期会ができることを願っている。(井上俊子 記)

64期だより

平成27年11月15・16日に「古里再認識、東筑64期同期会」を開催しました。

当日は思いおもいの方法で東筑高校玄関前での集合と案内しました。折尾駅舎の解体現場にショックを受けた者、自分の体力を過信して旧東筑学館横や鷹見神社経由の裏道に挑戦し息を切らしている者、則松小学校側の変貌を感じながら歩いてきた者等関東・関西・地元同期生44名が集まりました。

石川教頭先生の案内で新築の本館や食堂・図書館を見学させていただきました。期末試験前とあって日曜日なのに黙々と学習している後輩たちが大勢いました。この後輩たちの頑張りが東筑の名声を支えているんだなあと痛感しました。

懇親会と宿泊は「かんほの宿北九州」夕陽を間近に、温泉に浸かって、祝宴開始。

同期生とは良いもので、もうすぐ70歳なのに、〇〇ちゃん!△△ちゃん!とす

ぐに50年前にタイムスリップします。孫・健康・年金・介護の話はもちろんだが、高校時代はどうやった、こうやった、〇〇先生の授業は面白かったね、話は尽きません。また睡眠不足の夜となりました。

翌日は近代日本発展の原動力となった古里北九州市を再認識する旅。新日鐵の戸畑溶鉱炉・庄延工場・港湾施設等を新日鐵女性広報のアテンダントで見学しました。

昼食は九州の地に多数の優秀な技者を輩出した旧松本邸(西日本工業倶楽部)で優雅?に食事、食後の館内見学の折は時間がゆつくりと過ぎ、癒しのときでした。楽しかったね!また元気で会おう!と声かけながら、お開きとなりました。

来年は関西チームが世話人となり「古希の祝いを関西で」との計画が提案され、既に活動が始まっているようです。次回も元気に参加しよう!(柴田泰行 記)



古里北九州を再認識、新日鐵戸畑にて

65期だより

東筑ゴルフ大会で団体優勝

今年の第33回東筑ゴルフ大会団体戦で、65期が優勝しました。一昨年に続き2度目の優勝になります。団体戦の順位は、各期4名の成績上位者のスコア合計で決まります。

私は平成13年に東筑ゴルフ大会に初めて参加しました。ゴルフ場に着くと同期の3人が難しい顔をして座っていました。私の顔を見て3人がにっこり。65期で2組エントリしていたところ仕事等で不参加が多くなり、4人そろるか気を揉んでいたようです。何とか4人そろってゴルフ大会に参加したこともありました。

しかし、還暦を過ぎた頃からは参加者も多くなり、最近ではほぼ毎回4組で大会に臨んでいます。一度は優勝しようと同期で定例会を始めました。その成果があったのか、一昨年初めて優勝することができました。

ハワイ島でゴルフと観光を計画。優勝に気をよくして、定例会メンバーの有志で、ハワイ島でゴルフをしよう!と昨年から密かに計画していました。ところが情報がリークしてしまい結果的には同期の希望者を募って、10月に観光とゴルフの旅をすることになりました。

ハワイ島ならではのロケーションを満喫しながら、同期の友とのゴルフはスコアに関係なく楽しそうです。ゴルフボールが沢山なくなっただけでも自慢話になることでしょう。

また、キラウエア火山をはじめとするハワイ島の雄大な自然を観ながら、大自然を堪能しよう!と計画しています。非日常の中で自然に感動し、ゆつたりとした時間を過ごせることと思います。

椰子の葉のむこうに夕日が見える浜辺でビールを飲みながら、今日の素晴らしかった出来事を披露しあい、さらには50年前の



団体の部優勝 佐竹競技委員長から優勝トロフィーを授与される

66期だより

別府で卒業年次記念の同期会

66期生である我々は、卒業年次と同じ66歳になった記念として、昨年10月10日に別府観海寺温泉の両築別邸にて同期会を開催しました。東筑高校入学50周年にも当たるため、全国の同期生に声かけしたところ、今までの同期会では最多の44名の参加がありました。

今回は、北九州から北部九州を観光しながら、同期会の会場である別府までを往復するバス旅行も企画しましたが、こちらも30名の参加者がありました。

往路は宇佐神宮や杵築の街を散策し、帰りは湯布院と日田を回って北九州に無事帰着しました。ちょうど秋の観光シーズンと重なっていたため、湯布院では車の渋滞や人並みの多さに驚かされましたが、貸し切りバスでゆつたりと観光することができました。

今回の同期会にも、卒業以来、初めて顔を会わせたメンバーが何人もおり、関東、



入学50周年66歳の同期会 別府観海寺温泉 両築別邸

関西、四国などから駆けつけてくれました。いつもの同期会のように、自己紹介が終わると和気あいあいと、すっかり打ち解けて昔話に花が咲き、二次会のカラオケまで盛り上がりました。
我々の同期会は、京都で開催した還暦同期会以後、隔年で開催してきましたが、今回の同期会は、中締めという位置付けで、こししばらくは、同じような形の同期会の開催予定はありません。その代り、今まで同期会の無い年に行ってきた66温泉同好会を毎年行い、温泉地を巡る旅行として集まりたいと思っています。
今年、10月に山口県長門市方面に旅行を計画しています。
なお、今まで利用してきた同期会のホームページが業者の都合により休止中で、新しいサイトにホームページを開設すべく事務局が頑張っています。もうしばらくお待ち下さい。

(幹事 加来久幸 記)

70期だより



大野徹也君(中央)を囲んで



香味屋での毎年の定例会

「みんなで東筑の絆を確かめ合い、楽しく弾けた還暦同窓会」(平成26年11月2日実施)から早いもので、2年余り経過しました。70期では、同期の絆を今後ともつないでいくために、左記のような3つの集まりを継続していますので、紹介させていただきます。
《新年会》正月明けの最初の土曜日、午後6時から黒崎のイタリアンレストラン「香味屋」(同期経営の店)を貸し切って楽しい集まりをしています。毎年、定例ゆえ特に案内は出していないですが、そこは東筑70の絆。10名以上の同期が集います。まだご存じない方や忘れていた方は、次回は平成29年1月7日(土)です。是非参加をお願いします。
《定例会》東筑同窓会全体会の後、新年会の会場と同じ黒崎の香味屋に集まり、大いに盛り上がりがあります。毎年15名以上集まっています。東筑会全体会に来れなかつた」とい人も参加してくれています。
《トピック企画》同期が活躍するイベン

トに参加したりして、その応援をしてくれています。今年度は、6月26日に八幡東区の響ホールで行われたフェスティバルのオペレータ「メリー・ウイドウ」(陽気な未亡人)にテノール歌手として出演した同期の大野徹也君を応援しようと、同期12人が参加をしました。終了後は、大野君や出演者や東筑70期、彼の出身の熊西中のクラスメートの方々と八幡駅前居酒屋で合流し、和気あいあい楽しく歓談しました。
東筑70期のみならず、とにかく明るくて前向き。このよき「絆」が益々広がっていくことを願っています。同期の話題がありましたら、どんな小さなことでもよいので、幹事までお知らせください。
(青野元昭 記)

71期だより

これからもよろしく!

還暦記念事業

私達71期生は昨年、還暦記念事業を2本立てで行いました。
A 9月6日 日帰りバスハイイク
フルーツ狩りとパーベキュー
古典の殖生先生も参加して下さい、午前8時50分に東筑高校正門に集合してまずは田川市石炭・歴史博物館へ。
山本作兵衛さんの作品や、かつて日本の近代化を支えた筑豊炭田の往時のようすに思いを馳せました。
その後、同期の松木君の果樹園でフルーツ狩りとパーベキューに舌鼓。松木君の計らいでたくさんさんの料理とそれ以上のアルコールに、喉もお腹も大満足でした。
B 伊勢神宮還暦のお礼参りと平等院
10月10日 西から東からそれぞれJR京都駅に集合し2泊3日の還暦旅行の始まりです。まず、東海道47番目の宿場町関宿に立寄り、昔ながらの街並みに当時の面影を偲びました。宿に着いて二見ヶ浦、夫婦岩



還暦祝賀会in京都

を訪れました。その夜は木造4階建てという古風な宿で、ささやかな前祝いをしました。
10月11日。いよいよ伊勢神宮の参拝です。式年遷宮直後ということもあって、ほのかに材木の香りが漂ってました。
まずは外宮です。豊受大神(とうようけのおおみかみ)をお祀りしています。
次に内宮(皇大神宮)こうたいじんぐうです。天照大神がお鎮まりになっていきます。ここで、希望者が正宮内に進み出てお参りをしました。私の人生の来し方に思いをいたし、還暦を無事迎えられたことのお礼を胸に頭を垂れました。
京都に到着し、物故者への黙祷の後71期生の還暦祝賀会が始まりました。食が進み、お酒が進むに従って、気持ちは東筑高校のあの時にタイムスリップし、大盛り上がりでした。
10月12日。平等院と宇治探訪です。
1052年藤原頼通によって創建され、極楽浄土の宮殿をモデルにした鳳凰堂は、

聞きしに勝るあでやかさでした。その後世界遺産の宇治上神社、源氏物語ミュージアムを訪ね、いにしへの雅に触れました。

今回、参加して下さった皆さん、どうもありがとうございました。残念ながら出席できなかった方、次回の71期会にはぜひお越し下さい。お待ちしております。今回の記念事業に当たり、林事務局長、三橋さん、松尾君、小田切君、岡さんからなる実行委員会は1年半以上前から協議を続けてきました。特に三橋さんの尽力が無ければ旅行は実現できなかったかもしれません。実行委員の皆さんに心からお礼を申し上げます。
(会長 三宅正輝 記)

72期だより

還暦記念小旅行

去る6月4日東筑会総会に併せ、1年遅れの72期還暦の祝宴と小旅行を開催しました。総会は前年より10数名少なく40数名の参加にとどまりましたが、祝宴は「かんぼの宿北九州」にて50数名の参加をえて、和やかに賑やかに開催されました。

1泊で翌日は門司港レトロ散策というにもかかわらず、夜遅くまで(朝まで)高校時代に戻った様に尽きぬ話で盛り上ったことは云うまでもありません。

東京や上海、ベトナムからの参加者もいて、久々の再会に懐しく思い出話に花が咲きました。

それにつけても、皆よい歳になったのもです。予想を裏切る程変化した人あれば、思影が強く残って若々しい人まで様々ですが、そこは同期生すぐに打ち解けて妙に若々しく華やいだ気分にもなりません。

翌朝やや疲れ気味ではありますが、門



50数名の参加、還暦祝いの宴 かんぼの宿北九州にて

司港レトロを気ままに散策、三井倶楽部での昼食後、皆それぞれに健康と再会を約束して散会となりました。

ちなみに還暦旅行を最後の機会とせず、気ままな旅行などを楽しみたいと考えています。その折には皆さんふるって参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

さしあたって、「台湾美食の旅」など企画したいと思いますが、いかがでしょうか。
(草野克也 記)

76期だより

当番期を終え、10年が経ちました。当番期の次の年から始まった同期会も、10周年です。同期会は、東筑会同日夜、本会終了後、同じ会場の別室で開かれます。参加者は多い時で50名を超えます。この会の幹事を決める時のちよっとした笑い話。始めは1・2組から順に2クラスずつという話で

したが、男子クラスからクレームが・・・。「野郎だけで幹事なんてやる気が出ない」つてわけです。(笑)それで、1・6組のペアからスタートすることになりました。因みに76期は3年時、1・3・9組が男子クラスでした。こうして始まった同期会のクラス幹事も二巡終了。今後はもう一巡(5年)して還暦旅行をしようかという話になっています。東京オリンピック(2020)の次の年かな。

春には花見(東京53の会)、関西旅行(関西76期)、初夏(6月)には同期会、秋には旅行(クラスや地域・趣味の仲間などで)など、一つの出会いから色々な繋がりが生まれています。また、これはちよっとした自慢話ですが、76期には映画監督の雑賀俊郎君がいます。これまでに『チエスト』『リトルメストラ』などの秀作を世に送り出しています。彼の映画の公開前には、激励会をしたり、試写会に応援に行ったり(横断幕持参の人もいますよ)と・・・これまた楽しいです。

当番期に再会した友、当番期に出逢った友との繋がりが、それからの生活を豊かにしてくれたいと思います。感謝です。
追記 雑賀監督最新作「カノン」10月1日(土) 角川シネマ新宿他全国公開

九州では、博多キャナルシティ、ユナイテッドシネマ中間などで公開
出演 比嘉愛未・ミムラ・佐々木希・鈴木保奈美・多岐川裕美ほか
母娘三世代の物語。是非、映画館へ。どうぞよろしくお願いします。
(竹内容子 記)

77期だより

「今年の当番期は〇〇期か、ということでは我々が当番だった年から〇年たったわけか」。毎年の総会で交わされる会話。時の流れが早いことを感じつつ、あの時は同級生が結束して大役を果たしたねという思い

を改めて共有するわけです。

高校を卒業して約30年間で、一部を除いてお互いほとんど音信不通なのに、ただ同級生だったということだけで最初はぎくしゃくしていても、そのうち歯車が調和して動き始める、その時から早9年がたちました。「六〇(ろくまる)会」同級生の多くが1960年生れであることからこの名があります。毎月、博多のどこかで楽しい集まりをやっています。森信二君がずっと世話役をやってきて、今年7月で112回目。月一飲み会と年3〜4回のゴルフでリフレッシュしています。

【年一同期会】毎年2月、折尾駅近くのお店で同期会。高校のときの男女比は約3対1だったのですが、この会の参加者はほぼ男女同数。女性がいると逆に男子クラスの話は何年たつても尽きません。三年間男クラ在籍者ともなると、話題は無尽蔵「此恨綿綿無絶期」。(綿々として絶えることなからん)



6月4日総会当日 控室前にて

【今年のトピック】今年9月17、18日で、1泊2日の由布院温行を計画しています。3年前に同じ旅行を行って、今回は2回目。今回は20数名の参加で宴会・カラオケ大会、翌日はゴルフ組と観光組（由布院観光と黒木のワイナリー）に分かれて思いつき楽しみました。

同じ時代を同じ高校で過ごしたという縁を大切にして、この77期の同期の輪が広がって、続いていくことを願っています。これからは、健康で飲んでプレーして楽しく集まりましょう。

(前正義典 記)

82期だより

いろんなつながり

早いもので、82期が当番期を担った平成24年6月の東筑会総会、懇親会を終えて、4年が過ぎました。同年11月に東京東筑会の、平成27年5月に関西東筑会のそれぞれ総会懇親会の当番も無事に終えることができ、関西東筑会懇親会の終了後には、同期で50歳の修学旅行も催されました。

現在、82期は、毎年行われる東筑会、地域東筑会懇親会への参加、毎年年末に行われる同期会への参加を通じて親睦を深めるなど、ゆつくり、のんびり、同期の集いを楽しんでいます。また、当番期を通じて交流を深めた者が集って懇親会を開く、ゴルフに出かけるなど、各地で同期の集いを楽しんでいます。いつまでも同期の集いを楽しめれば嬉しい限りです。



20数年ぶりの旧友との再会

りです。

ところで、昨年末、20数年ぶりに、学生時代から10年余り一緒に馬鹿をやった仲間からの便りがありました。長いこと連絡がつかなかったのですが、聞けば金沢で飲食店の経営などを行っているとのこと、あまりの嬉しさに、今年の4月、今も一緒に馬鹿をやっている千葉と鞍手の仲間3人、いずれも日々の仕事に折り合いをつけて時間を作り、金沢での再会を大いに楽しみました。私は初日の夜に飲みすぎて翌日の夜まで二日酔い、この歳になつて反省しきりでしたが、あの頃のままの「俺、お前」で大いに盛り上がったことがとても嬉しい3日間、忘れられない思い出がまた一つ増えました。私は、地元北九州に根差して自由業を営んでいることもあつてか同窓の方々に巡り合える機会に恵まれ、同窓という絆で結ばれた縁を強く感じています。つい先日小倉の街でお世話になるなど、たくさんの方から恩を受けていることのありがたさが身に染みる今日この頃です。(江口暢啓 記)

86期だより

平成27年6月に85期の先輩から当番期の棒を引き継ぎ、当番期として活動を始めました。岩男会長を中心として、定期的に集まり作業を進め、内容によっては、先輩方からもアドバイスをいただきながら、懇親会の準備を進めてきました。6月4日には、皆様方のご協力により、東筑会総会・懇親会を無事に開催でき、ようやくホッとしたところですが、本当にありがとうございます。

その後、6月25日(土)には、東筑会館において、86期から87期の皆さんに当番期活動について引き継ぎを行いました。1年前に引継ぎを受けた際には、無事に開催することができたか不安でしたが、まさに、87期の皆さんはそのような気持ちで



86期から87期へ当番期引き継ぎ
～ 東筑会館にて ～

と思います。

懇親会では、高校生の頃に良く食べた、さんさんのお好み焼き、とくちゃんを特別に用意し、高校生の頃を思い出しながら楽しいひと時を過ごしました。

東筑会懇親会の当番期としての活動は終了しましたが、10月に行われる東京東筑会、3年後の関西東筑会の当番期活動に向けて、このまま団結して大役を果たして行きたいと考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。(岡村宏幸 記)

88期だより

再来年は当番期

88期は柴田泰山、川地啓輔、沖村大太郎などを中心として再来年にひかえた当番期に向け、微力ながらも少しずつ準備を進めています。現在は、近年に当番期を経験された諸先輩方のお話をうかがいながら、卒業後すでに26年を経過した同期の名簿と連絡網の整理などに尽力しています。

高校卒業から経過した26年という時間は、同期それぞれの人生の時間でもあり、こ



再来年は当番期 心をひとつに88期

には同期ひとりひとりの毎日の生活があります。この時間の中で高校時代の思い出は、忘却の彼方に消失したり、あるいは残った記憶もセピア色になったり、もっと色褪せたりするものかと思っていました。意外にも鮮明に憶えているものであり、プチ同窓会と称して年に2回ほど実施している気軽な集まりの中で、他愛もないエピソードなどを思い出しては談笑に花が咲いています。また、ちよび多用な年齢層でもあり、日々の生活に追われる毎日の中で過去を思い出す余裕もないかと思っていました。同期の友人たちとともに過去を思い出して、過去を語ることで、今を生きていることを実感し、自らの人生を振り返るきっかけを与えてもらったような気さえしています。

高校時代に一言も話したこともなく、また卒業アルバムで顔を見ても思い出せないどころか、およそ誰かさえも分からない同期もいたりしますが、それでも昭和から平成にかけて時代が動いたあの3年間を、あの校舎とともに学び、ともに過ごし、ともに生きた同期と思うだけで、社会人生活ではあり得ないような安心と信頼のもと、あ

**これからの東筑会の情報は
ウェブサイトでチェック!!**



- 必要な情報はプリントアウトで即保管。
- 懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- 場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- 同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp
スリーダブリュー トウチクカイ ジェイビー

新住所を事務局へご連絡ください

☆ 住居表示に変更・改姓・転居された方

* 個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 藤澤)

らたなる人間関係が構築できてきている今日この頃です。
諸先輩、後輩の皆様にかかれましては再来年の総会ならび懇親会に向けご指導ならびにご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。そして88期の方々は、28年ぶりに心をひとつにできるというこの奇跡に向け、ひとりでも多くの方が相集っていただきますよう、よろしくお願ひいたします。
(柴田泰山 記)

103期だより

東筑会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今回はこの場をお借りして、2017年年初に計画しております103期同窓会についてご案内させていただきます。
私たち103期生が卒業してあつという間に10余年が過ぎ、30歳という一つの節目を迎えています。同じ高校で3年間過ごしたという繋がりや大切さを年々強く感じます。その繋がりを大切にしていきたいという想いから、今年から私が現在暮らしている関東周辺の友人に声を

かけて定期的な語り合う機会を設けています(まだ回数少ないですが...)。危うく電車を逃してしまいうる程の盛り上がりで、私だけでなく多くの同級生にとつても東筑の繋がりは居心地の良い繋がりなのだと感じております。年末年始には多くの同級生が地元へ帰省すると考え、年初に同窓会を開催する計画をスタートさせました。
年初の同窓会では、お世話になった先生方や懐かしい友人との大切な繋がりを再確認するのはもちろん、学生時代にはほとんど喋る機会がなかった同級生とも新たな繋がりができる場にし、東筑という繋がりを



定期的に語り合う機会を設けて...103期

強められる場にできたらと考えております。年始早々の開催になります。沢山の皆様にご参加いただくと起案者として嬉しい限りです。尚、日時、場所についてはすでに決まっておりますので、下記のとおりご案内申し上げます。出欠やその他詳細に関するご案内はSNS、メール等を活用し連絡して参ります(2016年10月頃開始予定)。
日時・2017年1月2日 15:00
於・ステーションホテル小倉
最後になりましたが、今回このようなPRの場を頂きました東筑会事務局の皆様へお礼申し上げます。(山下浩平 記)

編集後記

おかげをもちまして、会報37号が発刊の運びとなりました。会報への投稿の数や内容が年々充実してきており、会報委員会として大変有り難く感じております。会員の皆様方、本当にありがとうございます。

「各地区東筑会だより」では、全国16地区東筑会から投稿を2年連続でいただき、活動の広がりや活気を感じております。「各期だより」の投稿も年々増えてきています。今年は103期という若い世代からの投稿もあり、大変画期的なこととなりました。

東筑高校の現在の状況についても、わかりやすく投稿していただいています。校長先生のリーダーシップのもと、「本気の文武両道、本気の東筑魂」をめざして、東筑高校が現在もお伝統的な東筑魂を実践・継続されている様子がよくわかります。さて、今夏開催のリオオリンピックでの日本人選手の活躍。手に汗を握り、テレビに釘付けになった方も多かったと思います。金12個、銀8個、銅21個の計41個という日本オリンピック史上最多のメ

ダル獲得に、日本中が喜びに満ちていました。私個人として、特に印象に残ったのは、柔道男子73kg級の金メダリスト大野将平選手。「世界で一番美しい柔道」ともいわれるその試合でした。決勝戦終了後、畳の上では喜びの表情や動作を封印し、平常心。畳の上でのガッツポーズ、ポイント逃げ切り等が当たり前になってきている「世界の柔道」とは異なり、本来の「日本の柔道」がめざす「道」なるものを感じました。

もちろん、様々な競技で祖国の代表選手として勝負に挑み、勝利の喜びを爆発させる選手の表現には大きな共感も覚えます。ただ、大野選手は、「美しく勝つ」ことにも美学を持っていたのです。彼は、試合後のインタビューで、「嬉しいです。内容的には満足できるものじゃなかったですけど、柔道という競技の素晴らしさ、強さ、美しさを見ていた皆様へ伝えられたんじゃないかなと思います。」と試合を謙虚に反省しつつ、こう述べています。「礼に始まり礼に終わる」「敗者へのいたわり」等、相手の人格を尊重し、敬意をはらうことからはじまるのが「道」としての柔道本来の姿かもしれないと感じました。これらのことは、文武両道にも通じます。日本人が古くから持っているこのよき伝統を、しっかりと見つめる機会となりました。

最後になりましたが、今後とも皆様方のご意見をいただきながら、会報委員4名で力を合わせ、「読みやすく、活力ある」「東筑会報」づくり」に今後とも力を入れていく所存です。会員各位の率直なご意見、東筑会の方々が益々元気になるような話題がありましたら、事務局までご提供ください。会報の作成に関わっていただいた皆様方には、多大なご支援・ご協力ありがとうございました。深く御礼申し上げます。

会報委員長 青野元昭 (70期)